

STEP WGN

Press Information 2022.5.26



子どもを育てる。これほどたいへんなことって、ありませんね。

でも、子どもと過ごす時間ほど、しあわせを思うことはありません。

ステップ ワゴンは、誕生から26年を迎えました。

あの頃、出かけるたびにステップ ワゴンに飛び乗っていた子どもたちが

親世代となり、家族のためにクルマを選ぶようになりました。

暮らしや社会を取り巻く環境が目まぐるしく変化するこの時代、

家族を見つめ続けてきたステップ ワゴンは、いま何ができるのだろう。

それは、みんな一緒の時間を、一人ひとりの時間を、もっと豊かにすること。

家族の暮らしを、もっといい明日へと運んでいくことだと、Hondaは考えます。

ホッとできて心から安心できる。新しい世界が自由に広がる。

そんな余裕たっぷりのわくわくドキドキを載せて

ステップ ワゴンは走りはじめます。

#素敵な暮らし

STEP WGN

Grand Concept



■ ステップ ワゴンの歩み

家族を見つめ、ミニバン価値を追求し続ける、 ステップ ワゴンの歩み。

1996年、Hondaの新しいクルマづくり「クリエイティブ・ムーバー」（生活創造車）を進めるなかで、ステップ ワゴンは家族のための「ファミリー・ムーバー」として誕生しました。

FF車ならではの扱いやすさや多人数が快適に過ごせる大きな空間は、子育て世代を中心にたくさんの家族から支持され、ユーティリティ・ミニバンというカテゴリーを確立。

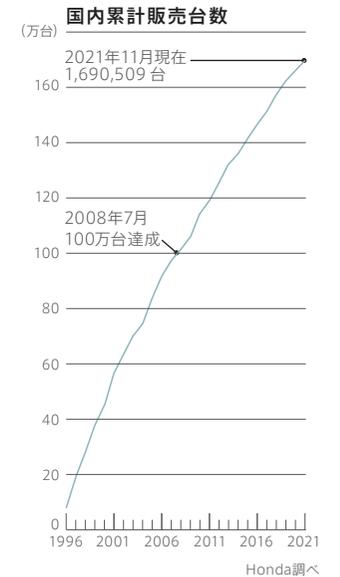
以来、家族にとってなにが最良かを命題に進化を続けてきました。

6代目となる今回は、歴代が培ってきた空間の広さや使い勝手のよさといった、ステップ ワゴンならではの価値をさらに拡大するとともに、頼もしくてなんでもできそうな余裕を追求。

家族の暮らしをより豊かに広げる可能性に満ちたミニバンへと進化しました。



STEP 6



STEP 1

1996年5月

FF乗用車づくりから生まれた、家族のための生活創造車「ファミリー・ムーバー」として誕生。乗用車感覚の運転のしやすさや乗り降りのしやすさと、広くてフラットな空間を実現。



STEP 2

2001年4月

家族みんなの楽しさ(FUN)がたくさん詰まった、機能的(FUNCTIONAL)な箱「ファン・ファン・ボックス」。空間をもっと大きくのびのびと進化させ、使い勝手も大幅に充実。



STEP 3

2005年5月

Honda独自のパッケージング技術「低床・低重心」を採用。大きくゆとりのある空間はそのままに、床面と全高を下げてより安定した走りを実現。2007年、スポーティーで上質な「SPADA」誕生。



STEP 4

2009年10月

「低床・低重心」を発展させ、最大限に広く、使いやすく。さらにエコドライブ機能を採用し、より低燃費で経済的に進化。乗る人みんなに、家族の暮らしに快適な、“皆楽”ミニバンを創造。



STEP 5

2015年4月

みんなに、もっとラクに、もっとやさしくをテーマに、すべての領域でホスピタリティを追求。わくわくゲートをはじめ驚きと楽しさを提供。2017年、ハイブリッド車を追加。

家族の想いに「安心」と「自由」で応え、 “素敵な暮らし”を届けたい。

子どものために親がしてあげたいことってたくさんあります。

ミニバンはその想いを実現するために必要なアイテムのひとつだと思います。

お客様に話を聞くと、「家族といる時がいちばん安心できる」「子どもに安全な信頼できるモノを選びたい」といった、この時代を反映する声が多く聞かれます。

一方、共働きの家庭が増えたことなどによって、「子どもと過ごす時間をもっとつくりたい」

「自分の時間も大切」など、自由や解放感を求める声も聞かれます。

私たちは、こうした子育て家族が求める「安心」と「自由」をカタチにしようと決意しました。

家族にしてあげたいこと、そして自分のためにしたいこと、それらさまざまな目的に応え、

暮らしをより豊かにできるアイテムをつくりたいと考えたのです。

あくまでも家族が主人公、クルマは暮らしの引き立て役に徹すること。

シンプルでありながら余裕に満ちていて、運転しても座っていてもじっくり馴染む。そんな、一人ひとりに心地よく、

家族の新しい世界がどんどん広がる、“素敵な暮らし”をお届けできると確信しています。



新型ステップワゴン開発責任者

蟻坂 篤史(ありさか あつし)

本田技研工業株式会社 四輪事業本部 ものづくりセンター シニアチーフエンジニア

1986年、本田技研工業株式会社入社、株式会社本田技術研究所に配属。実車研究室課にて冷却系性能テスト、熱交換流体解析に従事し、2003年、アジア専用モデル CITYの開発責任者代行を担当。2005年よりHonda R&D Asia Pacific Co., Ltd.(タイ研究所)へ赴任し、研究所の立ち上げに参加。研究系ブロックマネージャーを経て、2011年よりアジア専用機種AMAZE、MOBILIO、BR-Vの開発責任者を歴任し、2017年に帰国。今回、新型ステップワゴンの開発責任者を務める。趣味は熱帯魚、スノーボード、ゴルフ。愛車は2代目フィット(MT車)。

Grand Concept #素敵な暮らし



ミニバンNEWスタイリング

- ・安心を感じさせるしっかりしたスタンス
- ・自由を感じさせるシンプルフォルム

すべての信頼性

- ・車両感覚をつかみやすい視界
- ・先進の安全運転支援機能
- ・酔いにくい工夫とダイナミクス

空間の解放

- ・Honda史上最大*空間インテリア
- ・全席平等の快適性
- ・2列目、3列目シートの相乗効果

STEPWGN

※2022年5月現在 室内三寸法(室内長<フロントガラスの上端~3列目着座時視点位置>、室内幅、室内高)に基づく、Honda調べ

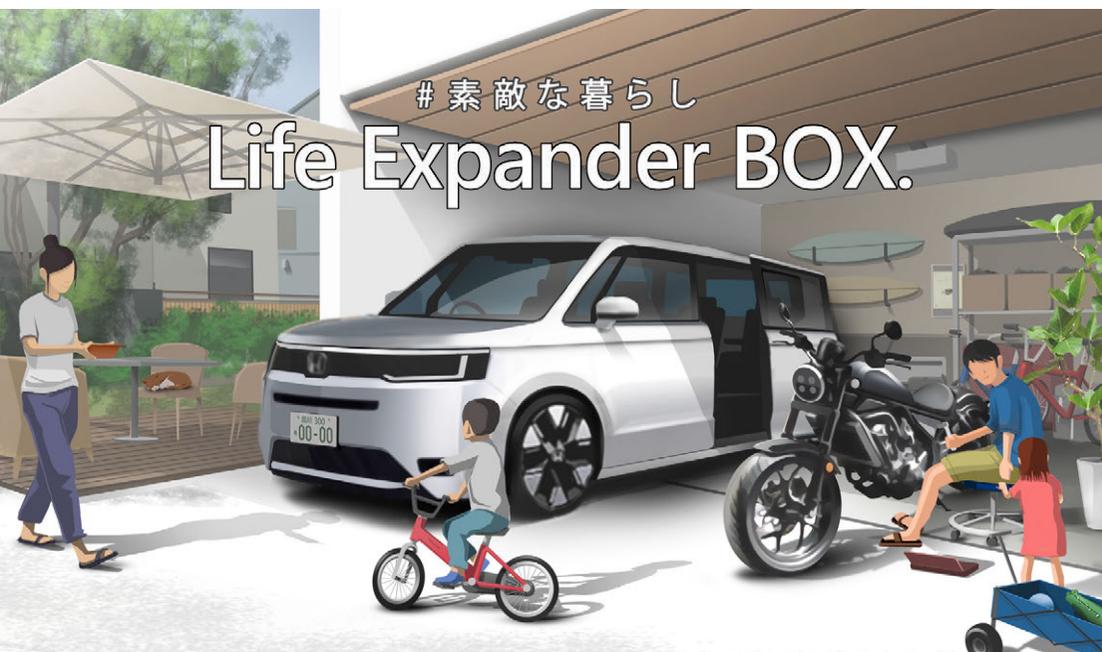
素敵な暮らしの幅を広げる2つの世界観。

今回は、個性を明確に分けた2つのステップワゴンを提案します。

Life Expander Box をテーマに、シンプルで親しみやすさを感じられる STEP WGN AIR。

Prime Life Box をテーマに精悍で品格のあるイメージを持たせた STEP WGN SPADA。

家族のライフスタイルに合わせて、幅広い“素敵な暮らし”を提供します。



STEPWGN
AIR



STEPWGN
SPADA

一人ひとりに心地よい「安心」×「自由」を詰め込みました。

<その、ほんの一例をご紹介>

駐車場や交差点で
運転操作しやすい視界



詳しくはP12

なんにでも使えそうな
Honda史上最大*空間



詳しくはP11

乗り物酔いしにくい
3列目視界の工夫



詳しくはP12

大きく頼もしい風格のある
ボックスシェイプ



詳しくはP7

家族をしっかり包む
水平なベルトライン



詳しくはP11



開度を好みに設定できる
パワーテールゲート

タイプ別設定



詳しくはP17

会話が弾む静粛性にも
こだわったe:HEV



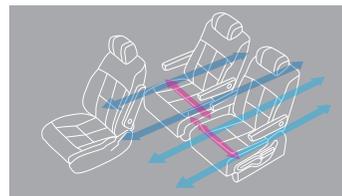
詳しくはP22

汚れに安心な素材を
適所に採用



詳しくはP15

好みの居場所に設定できる
2列目シートスライド機構



詳しくはP13

子どもの世話も超リラックスも可能な
シートアレンジ



詳しくはP13

「安心」×「自由」を 表現したスタイリング



家族の暮らしの可能性を広げる ミニバンの本質を突き詰めた スタイリング

それぞれの家族に「素敵な暮らし」を提供するために、ただで「安心」と「自由」を感じられるエクステリアデザインを目指しました。表面のディテールや勇ましいラインに頼ることなく、クルマ全体のカタマリで表現することで、一目で「このクルマは頼りになる」と実感できるスタイリングを実現。暮らしを素敵に引き立てます。

骨格とカタマリで「安心」を表現

しっかりとした
ロングノーズ

フロントピラーを立てた
ロングルーフでキャビンを長く

タル型に大きく
張りを持たせたサイド面



高めのベルトラインで
頼れる分厚いボディ

力強いリアピラー



しっかり踏ん張った
グッドスタンス
(危険回避)

強いキャビンをロングノーズが守り、しっかりした足回りが支える。

どこに行っても似合う、誰にでも似合う、「自由」を感じるシンプル&クリーンな仕上げ

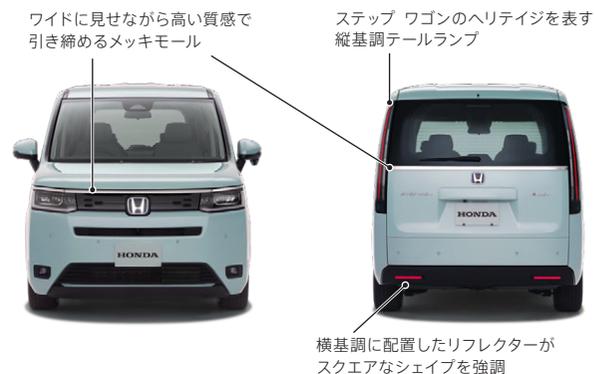


広くて居心地よさそうな
キャビン

たくさん積みそうな
ボックスシェイプ

緻密に整えられた
シンプルな面と線

使い道や行き先を選ばない。
家族みんなで出かけたいくなる。



ヘッドランプは発光体のデザインと配置を緻密に検証し、精悍さと親しみやすさを表現するとともに高い質感を実現。



インセットを減らし立体感を持たせた、ベルリナブラック+切削クリアタイプの16インチアルミホイール。

■ もうひとつの“素敵暮らし”を届ける、所有する喜びを満たす品格

前後バンパーやテールゲートスポイラーで、全体を力強く伸びやかに表現。精悍で力強い表情と高い品格の緻密な仕立てによって、家族をしっかりと守る「安心」と誇らしさを感じられる、頼れる存在に仕上がっています。



■ さらに上質な、特別なSPADAを設定

質感と機能をさらに高めたラグジュアリー仕様車、SPADA PREMIUM LINEを設定しました。

STEPWGN
SPADA
PREMIUM LINE



フロントグリルとヘッドライトの上端およびボディ下部の全周に、ブラチナクロームメッキを採用。

アダプティブドライビングビームをHondaミニバン初採用

ヘッドライトのハイビームにアダプティブドライビングビームを採用しました。ハイビーム照射中に先行車や対向車を検知すると周辺状況に応じて照射範囲を自動でコントロールし、前方車両への幻惑を低減。さらに上下で分割した可変ハイビームシステムによって、市街地などでは歩行者にも眩しさを与えないよう配慮しながら優れた視認性を確保します。



[スタイリング] ボディーカラー

STEP WGN

暮らしに馴染むナチュラルな色調

STEP WGN AIRでは、明るく豊かな暮らしを想起させる優しいソリッドライクな色調の専用色を設定。そのなかでもフィヨルドミスト・パールはSTEP WGN AIRのために新たに開発しました。



STEP WGN
AIR

フィヨルドミスト・パール
(STEP WGN AIR専用色/新色)



シーグラスブルー・パール
(STEP WGN AIR専用色)



プラチナホワイト・パール



スーパープラチナグレー・メタリック



クリスタルブラック・パール

自信と力強さ表現するダークトーン

STEP WGN SPADAでは、所有する喜びや上質感、力強さを表現するために、専用色を設定。トワイライトミストブラック・パールはSTEP WGN SPADA用に新開発しました。そのうえで、フロントグリルやボディー下部にクロームメッキのモールを採用し、上質感や力強さをより際立たせています。



STEP WGN
SPADA

STEP WGN
SPADA
PREMIUM LINE

トワイライトミストブラック・パール
(STEP WGN SPADA専用色/新色)



ミッドナイトブルービーム・メタリック
(STEP WGN SPADA専用色)



プラチナホワイト・パール



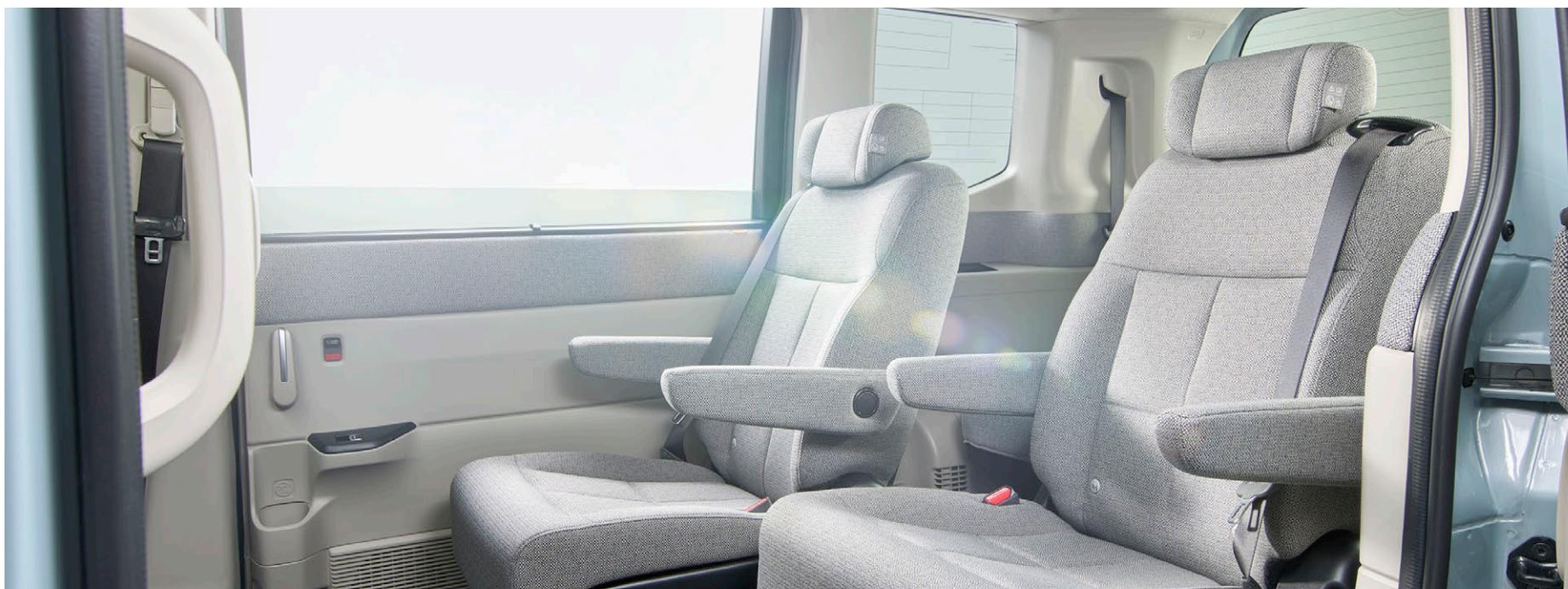
スーパープラチナグレー・メタリック



クリスタルブラック・パール

#素敵な暮らし

「安心」×「自由」で 満たされた空間



街なかも長距離も安心して運転できる、 全席快適で居場所を自由に選べる、 一人ひとりに心地よい居住空間。

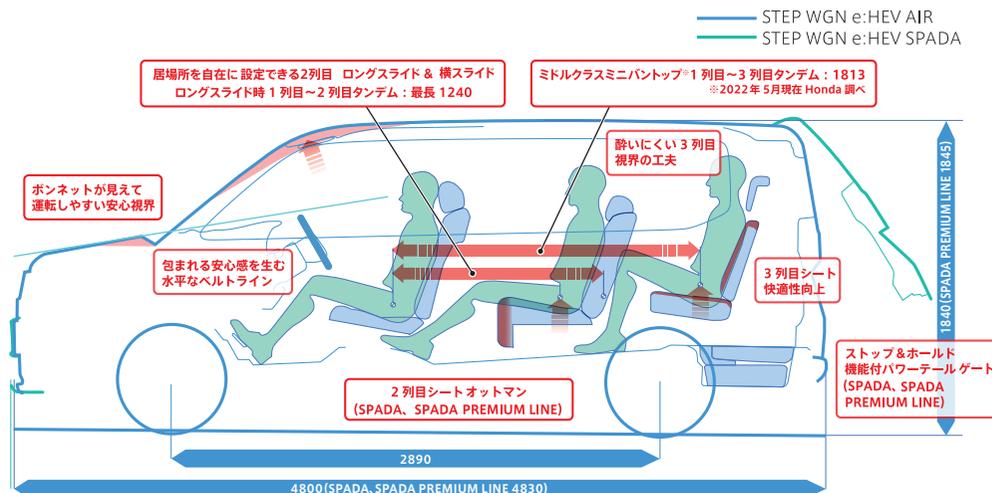
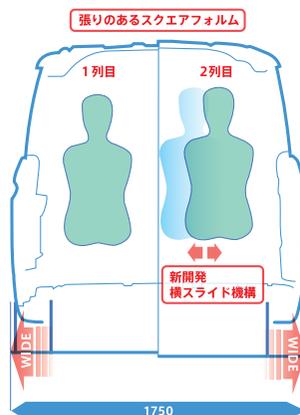
日常の買い物や送迎から遠出のレジャーや旅行まで、さまざまなシーンで使われるミニバン。子育て世代では夫婦ともに運転するといった家族も多くいます。そこで新型ステップワゴンは、夫婦のどちらが運転しても安心でき、2列目・3列目シートにだれが座っても心地よく、さらに好きな居場所を見つけられるよう、「安心」と「自由」のためのさまざまな工夫を空間全体に施しています。

■ Honda史上最大※空間を実現し、「安心」と「自由」を盛り込みました

ステップワゴンにとって空間のゆとりはミニバン最大の価値と捉え、歴代にわたり広さを進化させてきました。新型ステップワゴンではロングルーフのボックスシェイプにこだわり、頭上空間のゆとりやインテリア各部の造形などによって広々とした空間を確保することで、Honda史上最大※の広さを実現。そのうえで、「安心」と「自由」につながるボディーのベルトラインの高さ設定や運転しやすい視界の工夫などを随所に施しました。

※2022年5月現在 室内三寸法（室内長〈フロントガラスの上端〜3列目着座時視点位置〉、室内幅、室内高）に基づく、Honda調べ

■パッケージング説明図



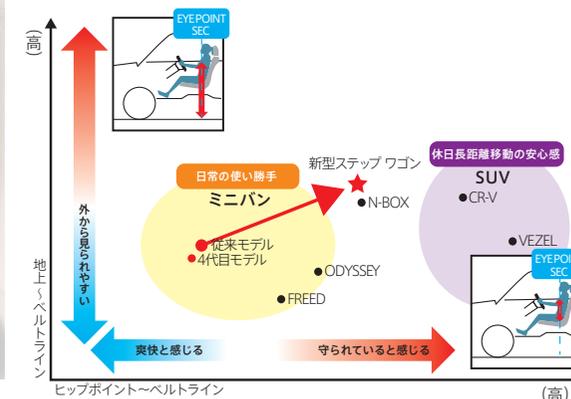
数値はSTEP WGN e:HEV AIR、STEP WGN e:HEV SPADA、STEP WGN e:HEV SPADA PREMIUM LINE 単位:mm Honda測定値

■ 水平なベルトラインが生み出す包まれ感

サイドウィンドウの下端が描くベルトラインは、車内からは視界の境界線になり、空間の居心地に大きな影響を与えます。車高の高いミニバンの場合、運転席からの視界をよくしようとフロント付近を下げることもありますが、このラインについて調査したところ、ある程度の高さがありなおかつ水平なほうが安心できるという結果が得られました。そこで、車外から見るラインの高さと着座時に見るラインの高さを検証。1列目から3列目までの位置に座っても安心感が得られながら開放感と両立するよう、従来モデルよりも運転席レベルで50mm高くして水平にすることで、空間全体を包み込む設計としました。

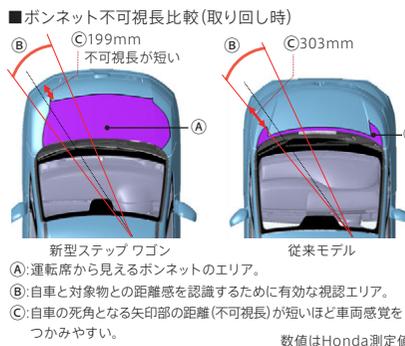
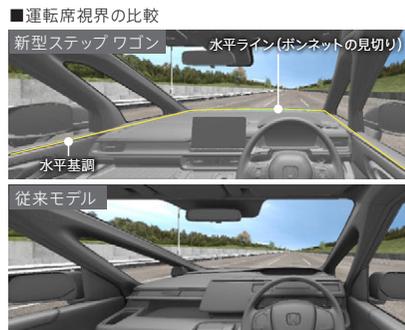


■ベルトライン高さ比較イメージ



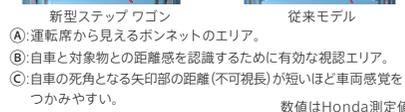
■ 車両感覚を把握しやすい運転席からの視界

ミニバンの場合、駐車場で車庫入れや縁石への幅寄せなどの際に、ボンネットの見切りとサイドウィンドウの稜線を定規のようにして操作する人が多いです。そこで新型ステップ ワゴンは、ボンネットの見え方やフロントピラーの配置、ダッシュボード形状など、多岐にわたる要件を統合的に検証。水平基調のベルトラインを活かしながらボンネット後端付近の見切りラインを直線で水平につなげるようにしました。駐車する時は車両感覚をつかみやすく、走行中もすっきりとした視界を実現しています。



■ ボンネットの見え方を追求

駐車する際などに車両前方を覗き込んだ時にボンネットがしっかり見えていると障害物との距離がつかみやすいと考え、走行時の視界には影響なく覗き込んだ時にボンネットの端が見えるよう、形状にこだわりました。



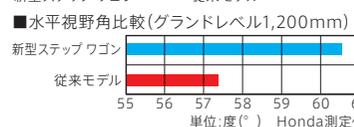
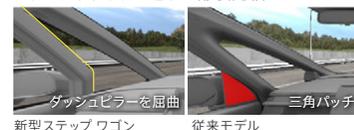
■ 交差点で歩行者を認識しやすいフロントピラーまわり

交差点での右左折時に横断歩行者の存在を認識しやすくするために、フロントピラーの位置や形状に工夫を施しました。従来モデルよりも70mmドライバー寄りに設置し、ピラー前は見やすさを向上。加えてフロントダッシュピラーを屈曲させ、フロントドアガラスの昇降ガイドに用いていた三角パッチを廃止。ドアミラーもドアスキンマウントとすることで、見やすさをさらに向上しています。

■ フロントピラー付近の視界



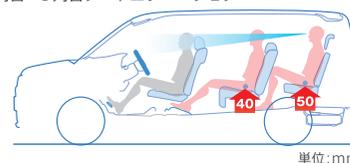
■ フロントダッシュピラー形状比較



■ 乗り物酔いしにくい3列目を目指した視界の工夫

長距離の移動でも快適に過ごすためには、疲労感につながる要因を減らすことも重要となります。新型ステップ ワゴンは、そのなかでも乗り物酔いの低減に着目。開発当初から社内の乗り物酔いを研究するチームと検討を重ねたところ、乗員は前方が見えにくいと横を向くなどして姿勢が崩れ、頭部をしっかりと支えられなくなるため酔いやすくなる、ということがわかりました。そこで、1列目から3列目にかけてヒップポイントを徐々に高く設定するエレベーションについて、従来モデルよりも高低差を増やし、3列目シートをより高く設置。さらに2列目シートのシートバックやヘッドレストの形状に工夫を施し、前方視界をしっかりと確保しています。また、水平基調のベルトラインと、それに並行するウィンドウ上端のラインが視野を安定させる効果を生み、よりいっそう快適に過ごせる空間を実現しています。

■ 1列目-3列目シートエレベーション



■ シートエレベーション ヒップポイント比較

車名	1列目-2列目	2列目-3列目
新型ステップ ワゴン	40	50
従来モデル	30	40

単位:mm Honda測定値

■ 良好な視界確保のための工夫

3列目からの視界イメージ



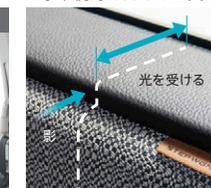
〈アイポイントレベル:9歳児〉

2列目からの視界イメージ



〈アイポイントレベル:ジュニアシート+6歳児〉

■ 水平視野のための工夫



ドア断面に厚みを持たせ、上面と表皮の境目に光の面と影を作ることによって、水平視野を強調しています。

■ 3列目が特等席となる快適なシート

シートエレベーションや2列目シートの形状などによる見晴らしのよさに加え、3列目シートの座り心地にも徹底的にこだわりました。ステップ ワゴンならではの床下への格納機能と両立を図りながら、従来モデルに対して、シートクッションは最大で21mm厚くし、シートバックは最大で16mm厚くするとともに45mm高く設定。長距離の移動でも疲れにくい、快適に過ごせるシートを実現しています。

■ 3列目シート快適性向上

シートクッション厚:+最大21mm
シートバック厚:+最大16mm
シートバック高:+45mm
(従来モデル比)

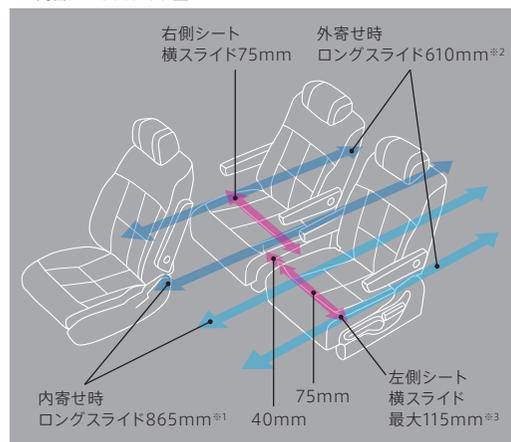


居場所を自在に設定できる

2列目に標準装備した前後・左右のライド機構

家の中でのリラックスした暮らしがクルマの中へシームレスに続いていくような、居心地のよさを追求。一人ひとりが好きな居場所を見つけられるように、2列目に標準装備したキャプテンシートに左右方向の横ライド機構を新たに開発。左右それぞれのシートに採用し、ぴったり寄せたり距離をとったりできる内寄せ／外寄せを可能にしました。さらに前後方向は、従来モデルを上回るロングスライドを実現。しかも3列目シートが設置状態でも格納状態でも後端までスライドさせることができます。これらによって、横ライドの内寄せ／外寄せと、ロングスライドの任意の位置とを組み合わせることで、2列目シートを自在に設定でき、これまでにない多彩なシートアレンジを可能としています。

■2列目シートスライド量



※1 STEP WGN AIR (STEP WGN SPADA, SPADA PREMIUM LINEは780mm)
※2 STEP WGN AIR (STEP WGN SPADA, SPADA PREMIUM LINEは525mm)
※3 左側シート内寄せスライド量が115mmのとき、右側シートは内寄せスライドができません。
数値はHonda測定値

■横ライド (内寄せ時)



ぴったり寄せればベンチシート感覚に。



ロングスライドも横スライドも1つのレバーで操作が可能。レバーを1段引き上げると前後に、さらに引き上げると前後と左右にスライドします。

2列目シートの背面にも前後スライド操作部を設置

左右のキャプテンシートの背面に、前後スライドの操作レバーを設置しました。2列目や3列目の乗員がラクに操作でき、3列目乗員の乗降時に重宝します。

■スライド操作イメージ



ロングスライドと横スライドの組み合わせで多彩なシートアレンジを実現

2列目シートの前後・左右のスライドを組み合わせ、さらに3列目シートを床下に格納することによって、これまでにない使い勝手やくつろぎ感が得られるシートアレンジを可能にしています。

■シートアレンジイメージ



2列目シートをロングスライドの前端にして内寄せすれば、運転席からでも手が届き、休憩時などに子どものお世話が可能。また、チャイルドシートを装着した状態で3列目へのスムーズな乗降が可能です。



2列目と3列目が互い違いになるようなシートレイアウトにすれば、一人ひとりが自分の時間を楽しむことができます。



2列目と3列目の片側に子どもが座り、もう片側の2列目シートを後方までスライドさせれば、2人の子どもにバランスよくお世話ができます。



3列目シートが床下に格納されていれば、2列目ロングスライド後端位置でリクライニングが可能。のびのびとくつろげる明るく開放的な空間を体感できます。



3列目シートを分割格納してリモートワークに。

■イラストはシートアレンジのイメージ図です。安全のため走行中は正しく着座し荷物をしっかりと固定してください。
■各装備・仕様の詳しい設定につきましては、P33~34の「主要装備」「主要諸元」をご覧ください。

違和感なく感覚的に操作できる運転席まわり

瞬間認知・直感操作というHondaの設計思想に基づき、自然に手を伸ばした先に操作したいものがあるよう、レイアウトを追求。クルマを始動させる際に自然な動作で操作できるよう、e:HEV車はパワースイッチ、ガソリン車はプッシュエンジンスター/ストップスイッチをステアリングの右側に設置。ハザードスイッチは少ない視線移動で見付けやすいように、インストルメントパネル中央の上部に配置しました。また、運転中に操作するスイッチは集中させてレイアウト。e:HEV車のエレクトリックギアセクターは姿勢を崩さず手を添えて操作できるよう隆起させた造形とし、エアコンスイッチは使用頻度の高い温度調整をダイヤル式にするなど、形状・大きさ・配置にこだわっています。



写真はe:HEV車



- ① パワースイッチ (e:HEV車/ガソリン車はプッシュエンジンスター/ストップスイッチ)
- ② エレクトリックギアセクター (e:HEV車/ガソリン車はセレクトレバー)
- ③ 電子制御パーキングブレーキスイッチ/オートマチックブレーキホールドスイッチ
- ④ エアコン操作部
- ⑤ ハザードスイッチ

視認性に優れた10.2インチデジタルグラフィックメーター

メーター左側にオーディオなどのインフォテインメント系、右側にHonda SENSINGやナビなど運転支援系の情報を表示。ステアリングスイッチの位置と連携させることで直感的な操作をサポートします。



写真はe:HEV車



【選べるメーターデザイン】

メーターデザインはバータイプも選択可能。また「2眼/シンプル」または「バー/シンプル」を選択すると、渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)での走行中はシンプル表示になります。

【自車状況や周辺車両を表示】

ブレーキランプやウィンカーなど自車状況を反映して表示。渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)や車線維持支援システム(LKAS)が作動中は、自車の走行レーンや検知した周辺車両も表示します。

ステアリングスイッチと連携した直感操作が可能

左右のメーター表示の切り替えとステアリングの左右のスイッチ操作を連携。オーディオ系表示や運転支援系表示を直感的に操作することができます。

オーディオ系表示

AMラジオ/FMラジオ/交通情報/Bluetooth®/TV/表示設定 ほか

運転支援系表示

安全支援情報/シートベルトリマインダー/ナビゲーション/平均車速/経過時間/航続可能距離/平均燃費/パワーフロー(e:HEV車)/メーター表示設定/車両設定/明るさ設定/スピードメーター指針 ほか



■ 触れて心地よく汚れにも安心なリビング感覚のインテリア

乗る人をやさしく包み込む空間を実現するために、ソフトな感触のパッドをインストルメントパネル上部から前後ドア、そして3列目まで連続して配置し、ソファのような厚みのあるシートを全席に採用。リビングルームのような居心地のよいインテリアとしています。また、食べ物の汚れが目立ちにくい素材を適所に採用するなど、安心感も高めています。



撥水・撥油加工、FABTECTを採用 タイプ別設定

水を弾くだけでなく、食べ物や飲み物の油も弾いて拭き取りやすくする、Hondaが独自に開発したFABTECT。布地への油の染み込みを抑えます。STEP WGN AIRはインストルメントパネル、ドアパネル、3列目サイドパネルのソフトパッドに、STEP WGN SPADAはシート

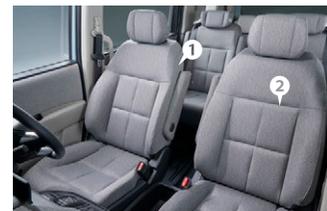


2列目シートにオットマンを装備 タイプ別設定

STEP WGN SPADA、SPADA PREMIUM LINEの2列目シートに、ゆったりとくつろげるオットマンを標準装備しました。

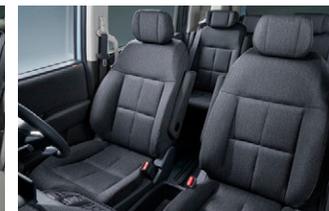


STEPWGN AIR 常に見えるところ、触れるところに柔らかい素材をふんだんに使用した、安心感に包まれる空間。



グレー内装

①メイン材をサイドまで張り込むことでシートの厚みを強調するとともに、シート全体を大きく見せています。
②ソファのようなふっくらとしたキルティング。



ブラック内装



汚れが目立ちにくいメランジ表皮。



シート形状を美しく整えるステッチ。



グレー内装



ブラック内装



蹴られた靴汚れなどが拭き取りやすいプライムスムーズ(合皮)をシート背面に採用。

STEPWGN SPADA 上質なファブリックとプライムスムーズ(合皮)を使用した、品格のあるソフトな風合い。



上質感のあるファブリック



ブラック内装

プライムスムーズ(合皮)のソフトパッドをインストルメントパネル上部、メーターバイザー、ドアライニングなどに採用。

シートのメイン材には光沢の違いで質の高さを見せる、緻密に織り込まれたファブリックを、サイドには柔らかい触り心地のプライムスムーズ(合皮)を採用。

シートにはすべてダブルステッチを施し、上質さを表現。

STEPWGN SPADA (PREMIUM LINE) スエード調表皮とプライムスムーズ(合皮)を使用した、落ち着きと風格に満ちた特別な仕上がり。



触り心地のよいスエード調表皮



ブラック内装

しっとりとした触感のスエード調表皮のソフトパッドをインストルメントパネル上部、ドアライニングに採用。

シートはメイン材のスエード調表皮に施したキルティング加工とサイドに採用したプライムスムーズ(合皮)がラグジュアリー感を演出。

クオリティーの高さを感じるキルティングステッチ

#素敵な暮らし

「安心」×「自由」が
広がる使い勝手



一人ひとりに使いやすく快適な「あとと便利」が充実した、もっと出かけたくなるユーティリティー。

家族で楽しく過ごす空間で不便や不満を感じることがないように、一人ひとりに快適な装備や機能を目指しました。1列目から3列目まで収納装備を充実させ、荷室の広さと使い勝手を追求。心地よくより安心な空調システムを採用するなど、日常も休日の長距離もより積極的に出かけたくなる、快適性と使いやすさを実現しています。

必要な時に使える、使いたい時にそこにある、収納装備

必要な時にすぐに使える適材適所にこだわりながら、使用しない時には隠しておけるといった、機能的にしつらえられたリビングのようなスマートさを追求。1列目のカップホルダーは3箇所に設けながら引き出し式とし、1列目のマイバッグなどを掛けられるフックもポップアップ式を採用することで、使用しないときはすっきりと格納。さまざまな装備を繁雑にならないように配慮しながら全列に充実させました。



なんにでも使えそうな家族の自由が広がる荷室

6:4分割格納式を採用し、床下へすっきりと納まる3列目シート。簡単操作で格納/設置を実現したことで、荷室の使いやすさをいっそう向上しました。床面が低く、開口の下端も同じ高さのため、大きな荷物でもスムーズな出し入れが可能。3列目シートを設置した状態でも379Lの大容量を実現し、3列目シートを格納して2列目シートを最前端にスライドさせることでフラットな床面がさらに広がり、容量1,395L (ベンチシート仕様車は1,463L) の荷室に拡大できます。



数値はVDA方式によるHonda測定値

開閉量が調整できるパワーテールゲート

タイプ別設定

テールゲートの開度を任意に設定できるパワーテールゲートを開発しました。メモリー機能^{*}によって、記憶させたい開度でテールゲートのスイッチを長押し (約1秒) することで設定が可能。使う人が手の届きやすい開度など好みの位置でゲートを停止させることができます。また、スマートキーやテールゲートのスイッチを押して停止することも可能。さらに、手動での開閉もでき、止めた位置で開度を保持するため、背後に壁があるような駐車スペースでも、途中まで開けて荷物を出し入れすることができます。



^{*}テールゲート先端が地上から約1.5m以上で設定可能となります。

■ 触れるだけで開閉できる、世界初*の静電タッチセンサー式を採用した両側パワースライドドアを、全タイプに標準装備

従来のドアハンドル操作に加え、軽く指先で触れるだけで開閉できる静電タッチセンサー式を追加。操作性や緊急停止時の安全性も向上し、アウトードアハンドルのシンプルなデザインも実現しました。

※2022年5月現在 Honda調べ

安全性を考慮した静電タッチセンサー
 ドアが停止状態の時は静電タッチセンサー中央の凹部に触れることで作動します。上下には禁止電極エリアを設けており誤動作を抑制。一方、作動時は検知エリアを拡大。咄嗟に停止させたい場合のラフタッチに対応します。

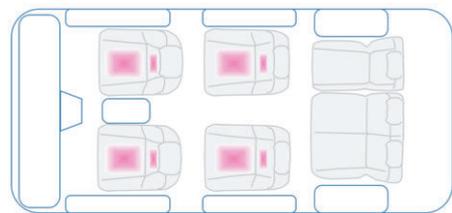


室内側はピラーに開閉スイッチを装備
 上下シーソー式の開閉スイッチをセンターピラー部に装備。室内からの開閉もラクに行えます。



■ 1列目・2列目にシートヒーターを装備 タイプ別設定

STEP WGN SPADAの1列目に標準装備したシートヒーターを、SPADA PREMIUM LINEは2列目シートにも標準装備。2列目にはオットマンも標準装備されるので、よりいっそう快適に過ごすことができます。



2列目用はルーフの空調コントロールローラーに左右独立の温度コントロールスイッチを設置

■ 微小粒子物質を検知するPM2.5センサーを導入した空調システム、Clean Airを全タイプに標準装備

大気中の微小粒子物質、いわゆるPM2.5を検知可能なセンサーを導入した空調システムの制御と、既存技術であるPM2.5を捕捉できるフィルターを組み合わせることで空気を浄化する、Clean Airを標準装備。家族の健康に安心な、クリーンな車内空調を提供します。

Clean Airの特徴

- ・内気循環で車内の空気を循環させてフィルターを通して浄化します。
- ・AUTOエアコンを作動させれば、車内のPM2.5濃度により自動で空気清浄モードが作動します。
- ・車内のPM2.5の濃度を常にモニターし、濃度をエアコンパネルに表示します。
- ・微粒子の検知範囲は0.5~2.5μm。10~100μmの花粉は検知できませんが、花粉に含まれる花粉症の原因となる約1μmのアレルゲン物質を微粒子として検知するため、結果として花粉は捕集されます。
- ・ディーラーオプションのナビゲーションシステムを装備すれば、空気清浄モード作動時の風量上げるなどの調整が可能です。
- ・ディーラーオプションのフィルター「くるますく」を装備すればウイルスを減少させることができます。

*標準装備のフィルターは、ウイルスを除去するものではありません。

AUTOに設定しておけば自動で浄化

エアコンをAUTOにすれば、清浄制御がONとなり、条件に応じて内外気/風量を自動制御してPM濃度を下げます。マニュアル操作で内気循環にしても浄化は行われます。

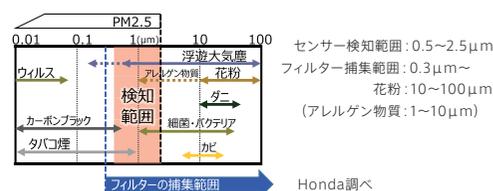
ディーラーオプションのナビ装着車の表示および操作

ナビゲーションシステムのディスプレイに清浄度を詳細に表示。作動時の風量をOFF/Lo/Mid/Hiから選択可能です。



環境省が示す正常濃度35mgを超えると内気循環に切り替え、浄化を開始。日本の観測上限と言われる70mgから35mgに下げるまで約3分を想定

■ センサー検知範囲/フィルター捕集範囲イメージ



#素敵な暮らし

「安心」×「自由」な

移動を体現する走りの性能



クルマの大きさを感じさせない 安心感と多人数乗車での快適性。 みんなに心地よいダイナミクス。

ゆとりある居住空間でドライバーも同乗者も快適なドライブを満喫できるように、安心感の高いハンドリングに磨きをかけるとともに、どの座席でも乗り心地がよく乗り物酔いしにくいダイナミクス性能を目指しました。そのため、ワイドトレッド化やアジャイルハンドリングアシストの採用などによって安定性を高め、フロアまわりの高剛性化やリアダンパーのストローク拡大などによって特に後席の乗り心地を向上させています。

■ ロールの少ない安心感のある走りを実現

2,890mmのロングホイールベースによる優れた直進安定性に加え、トレッドを前後ともに15mm拡大することで操縦安定性を高めました。また、重心高を下げてロールモーメントアーム※を短くできたことでロールが抑えられ、コーナリングや横風での安定性が向上。より安心感の高い走りを実現しています。

※車両の重心高とロールセンター高との距離

■ クラストップ※1の最小回転半径5.4m※2

ステアリングギアボックスやサスペンションのレイアウトを工夫し、トレッドを拡大しながらも従来モデルと同じ最小回転半径5.4mを実現。駐車やUターンなど日常の運転で取り回しのよさを実感できます。

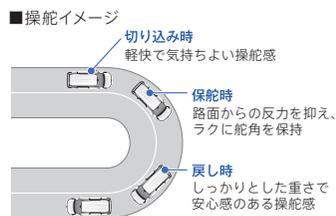
※1 全高1,800mm以上、7/8人乗りミニバン。(2022年5月現在 Honda調べ)

※2 17インチホイール装備車は5.7m



■ より自然な操舵フィールが得られるEPS制御

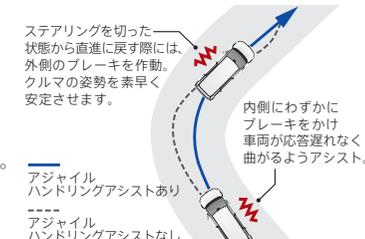
ステアリングアシスト量をきめ細かくチューニングし、より自然な操舵フィールを追求しました。切り込む時には軽い力でスッと操作できるようにアシスト量を大きめに設定。一方でコーナリング中の保舵や戻すときのアシスト量は小さめに設定し、しっかり感を持たせることで軽快かつ安心感のある操舵フィールを実現しています。



■ カーブでの挙動を安定させる アジャイルハンドリングアシスト

操舵角や操舵速度からドライバーが意図する走行ラインを推定し、4輪のブレーキを独立制御して車両挙動をコントロールするアジャイルハンドリングアシストを採用しました。回頭性やライントレース性を向上させ、カーブや車線変更でのスムーズな運転を支援。多人数乗車時や、雪道などのすべりやすい路面においても優れた安定性を発揮し、さまざまなシーンで運転に安心感をもたらします。

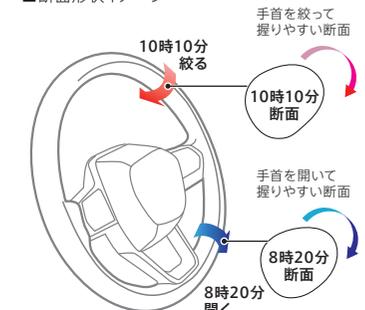
■ 車両挙動イメージ



■ ミニバンの運転姿勢に適した ステアリングホイール断面形状

ミニバンはヒップポイントが高めで、ステアリングホイールを前傾させたレイアウトとなるため、ステアリングホイールの上部では手首を絞り、下部では手首を開いた状態で握ることになります。そこで、どの部分でも自然に握れるように断面形状を各部で調整。運転姿勢に適した快適な操作感に貢献しています。

■ 断面形状イメージ



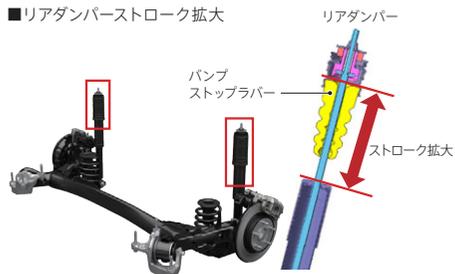
■ 電子制御パーキングブレーキを全タイプに標準装備

信号待ちや渋滞などでドライバーの負担を軽減する、オートブレーキホールド機能を備えた電子制御パーキングブレーキを全タイプに標準装備しました。

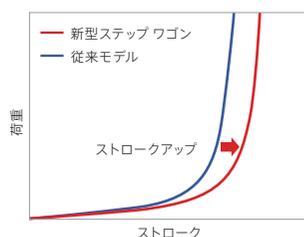
■ 後席の乗り心地と酔いにくさを追求したリアサスペンション

リアダンパーのストロークを拡大するとともにスプリングのバネレートを低減。そのうえでダンパー減衰力やバンプストップラバーの特性を最適化し、快適な乗り心地を実現しています。さらに、アクセルやブレーキ操作時のピッチングを抑えるサスペンションセッティングを施し、乗員の目線を安定させることで乗り物酔いのしにくさにも寄与しています。

■ リアダンパーストローク拡大



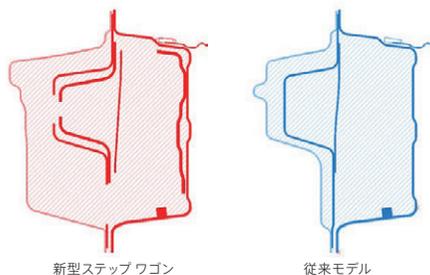
■ リアサスペンションストローク比較イメージ



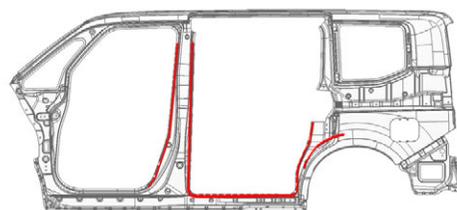
■ 質感の高い乗り心地をもたらすフロアまわりの高剛性化

サイドシル断面の大型化やスライドドア開口部への構造用接着剤の適用、リアダンパースプリング取り付け点形状の最適化により、フロアまわりの剛性を向上。サスペンションの動きをスムーズにするとともにフロアの振動も抑え、質感の高い乗り心地を実現しています。

■ サイドシル断面大型化



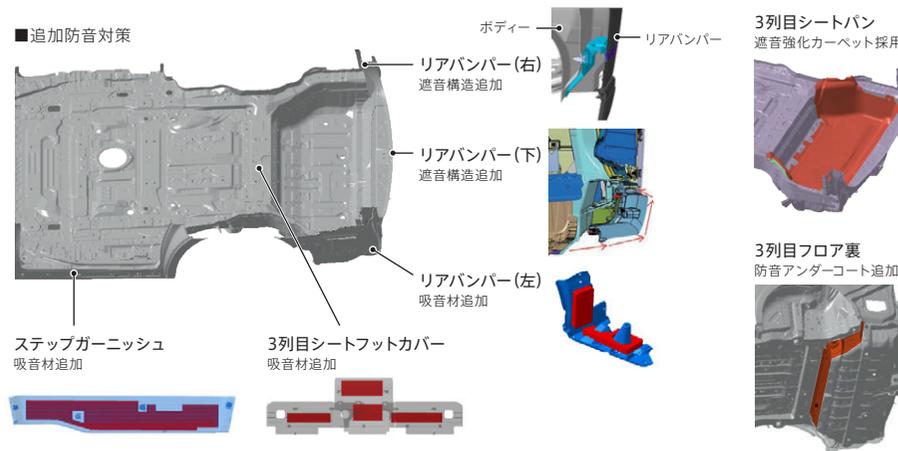
■ 構造用接着剤適用箇所



■ 3列目の静粛性を高め、全席で会話を楽しめる空間を実現

ボディ剛性の向上によってフロアなどの振動を抑え、リアまわりを中心に遮音材や吸音材を追加採用。各ピラー下部の充填材に、細かい隙間まで埋めることができるスプレーフォームを採用したことと合わせ、1列目から3列目まで会話を楽しめる、静粛性に優れた空間を実現しました。

■ 追加防音対策



■ ボディーサイズを拡大しながら優れた空力性能を達成

ボディ全幅の55mm拡大によって前面投影面積が増加しながらも、実車での風洞実験を繰り返し、各部の形状を工夫することでCD値を低減。燃費性能に貢献するとともに、前後リフトバランスを最適化したことで高速走行時の安定性を高めています。

■ 主な形状最適化部位



運転に余裕をもたらす扱いやすさと 会話が弾む静粛性を求め、 磨き上げたパワートレイン。

燃費性能やパワーといった基本性能に寄与する技術を進化させながら、どんなシーンでも安心して運転できる特性や1列目から3列目まで会話が弾む静粛性など、家族のドライブを楽しく快適な時間にするためのパワートレインを追求しました。e:HEV車、ガソリン車ともにドライバーの意思にリニアな加減速フィールを実現し、リアルタイムAWDは雪道での走りをよりスムーズにしています。

■ 力強い走りと低燃費を両立し、静粛性にも優れる 2モーターハイブリッドシステム e:HEV

日常シーンのほとんどをモーターで走行し、モーターよりもエンジンの方が効率が高い領域をエンジンで走行するHonda独自の2モーターハイブリッドシステム「e:HEV (イー エイチ イー ブイ)」。新型ステップ ワゴンではエンジン効率やバッテリー出力を高めるなど各要素の進化を重ね、中間加速のレスポンスや車速とエンジン回転がシンクロするフィールを向上させ、より快適性の高いシステムとして進化させています。

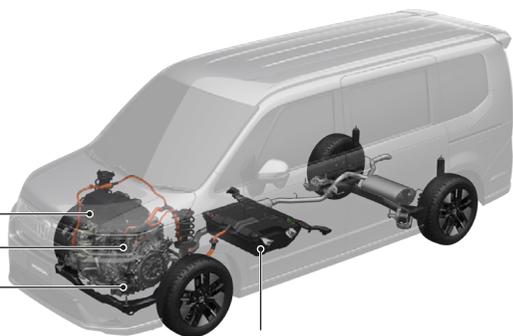
■ システム構成



2.0L アトキンソンサイクル
DOHC i-VTEC エンジン

パワーコントロールユニット (PCU)

2モーター内蔵電気式CVT



インテリジェントパワーユニット (IPU)

■ 燃料消費率 (国土交通省審査値) *1



STEP WGN e:HEV AIR
20.0km/L

市街地モード (WLTC-L) 20.4km/L
郊外モード (WLTC-M) 21.3km/L
高速道路モード (WLTC-H) 19.1km/L

*1 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境 (気象、渋滞等) や運転方法 (急発進、エアコン使用等) に応じて燃料消費率は異なります。

*2 WLTC モード：市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード：信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。郊外モード：信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。高速道路モード：高速道路等での走行を想定。

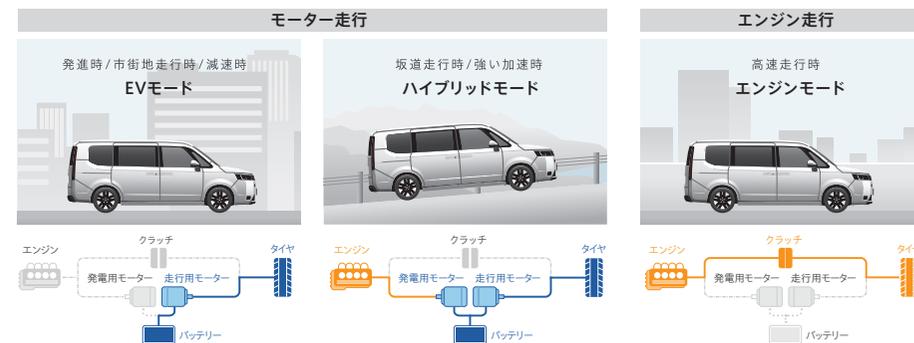
■ モーター/エンジン性能

走行用モーター	最高出力	135kW [184PS] / 5,000-6,000rpm
	最大トルク	315N・m [32.1kgf・m] / 0-2,000rpm
エンジン	最高出力	107kW [145PS] / 6,200rpm
	最大トルク	175N・m [17.8kgf・m] / 3,500rpm

■ 3つのドライブモードで高効率に走行

発進時や街中の走行時はEVモード。加速時や坂道などよりパワーが必要な時は、エンジンとモーターを併用するハイブリッドモード。高速道路などでのクルージング時は、エンジンだけの力で走るエンジンモード。3つのモードをシーンにあわせて使い分け、高効率な走行を実現します。

■ ドライブモード



EVモード
発進時/市街地走行時/減速時
EVモード

ハイブリッドモード
坂道走行時/強い加速時
ハイブリッドモード

エンジンモード
高速走行時
エンジンモード

バッテリーからの電気によりモーターのみで走行。エンジンを止めて走るのでガソリンを使わずに電気自動車として走行を楽しめます。

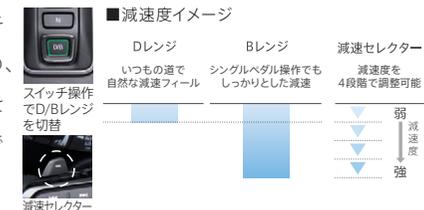
エンジンの方で発電した電力で走行用モーターを駆動。加速時にはバッテリーからの電力を合わせて走行用モーターで走り、よりパワフルな加速が楽しめます。

エンジンの得意領域である高速クルーズ時にエンジンと車輪を直結し、エンジンの力で走行。燃費を抑えながら高速走行ができます。

機械的なエネルギー — 電気的なエネルギー —

■ アクセルオフ時の減速度を高め、下り坂での安心感を向上

従来モデルのSレンジからBレンジに変更。回生ブレーキ量を増やすことでアクセルオフ時の減速度を高め、下り坂でのフットブレーキ操作を軽減して安心感を高めています。また、e:HEV SPADAは減速度を4段階で調整できる減速セレクターを備えています。



■ 熱効率をさらに高めた、2.0L アトキンソンサイクル DOHC i-VTEC エンジン

VTEC*1と電動VTC*2による高精度なバルブコントロール技術により、走りと燃費を高次元で両立させたガソリンエンジン。新型ステップ ワゴンでは、高圧縮比化や吸気損失の低減、徹底したフリクション低減によって熱効率を向上。さらに、車速とエンジン回転数が連動した気持ちよいエンジンフィールも追求しています。

※1 可変バルブタイミング・リフト機構 ※2 連続可変バルブタイミング・コントロール機構

■2.0L アトキンソンサイクル DOHC i-VTEC エンジン



熱効率向上技術

[圧縮比アップ]

燃焼室のコンパクト化およびピストン冠面形状の改良によって、圧縮比を13.0から13.5にアップ。ナトリウム封入エキゾーストバルブの採用などノッキング対策も徹底し、燃焼効率を高めました。

[EGR導入量増加]

高流動タンブルポートの採用によって混合気の均質化を促進。EGR(排気ガス再循環)の導入量を増加させることができ、ポンピングロスを低減させました。

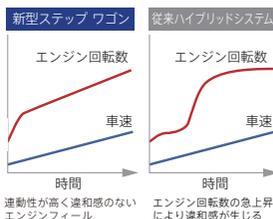
[フリクション低減]

カムシャフトやクランクシャフト、ピストン、シリンダー、チェーンガイドなど、広範囲にわたりフリクション低減技術を採用しました。

最大熱効率領域の拡大によって実現した、車速とエンジン回転数の連動感

e:HEVは常にエンジンの最大熱効率点で運転することができるため、燃費性能の向上が図れます。一方で、その点に特化しすぎるとエンジン回転数の急上昇などドライバーに違和感を与える場合があります。新型ステップ ワゴンでは熱効率向上によって最大熱効率領域が拡大。セッティングの自由度が高くなったことで、優れた燃費性能を発揮しながら車速とエンジン回転数が連動した気持ちよいエンジンフィールを実現しています。

■車速・エンジン回転数比較イメージ



■ 静粛性を向上させた、2モーター内蔵電気式CVT

発電用と走行用の2つのモーターとエンジン直結クラッチを搭載。走行用モーターに最高出力135kW、最大トルク315N・mの高出力・大トルクモーターを採用し、低速から高速まで幅広い速度域で力強くなめらかな加速をもたらします。新型ステップ ワゴンでは、発電用モーターと接続されたジェネレーターギアの幅を最適化して噛み合い音を低減。より静かな走りを実現しています。

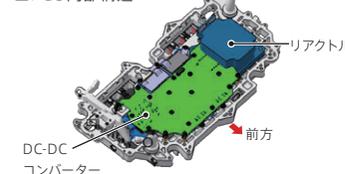
■2モーター内蔵電気式CVT



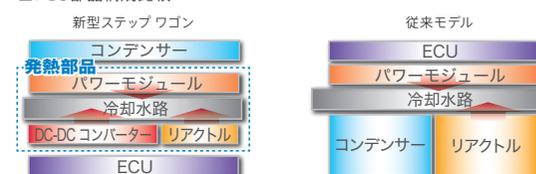
■ バッテリー出力向上に寄与する パワーコントロールユニット(PCU)

バッテリー電力を直流から交流へ変換するパワーモジュールや、電圧を走行用モーターの要求電圧に昇圧するボルテージコントロールユニット(VCU)などにより2つのモーターをコントロールします。新型ステップ ワゴンでは、これまでインテリジェントパワーユニット(IPU)内にあった、熱を発するDC-DCコンバーターをPCU内に移設したことで、バッテリーを内蔵するIPUの発熱を抑制。バッテリー出力の向上に寄与しています。また、高電圧部品を集約して水冷機構で効率よく冷却する構造としたことに加え、VCUの容積を45%低減したことで、DC-DCコンバーターを内蔵しながら従来同等のサイズに抑えています。

■PCU内部構造



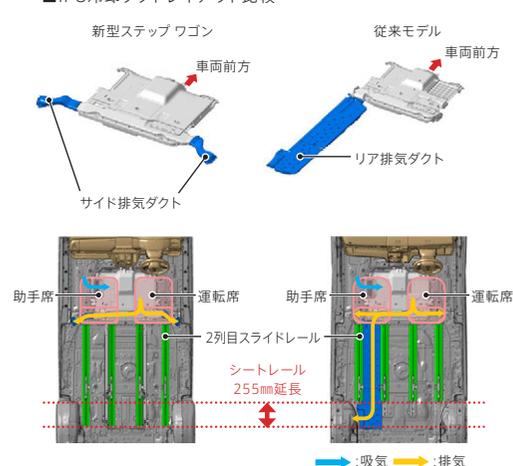
■PCU部品構成比較



■ 2列目シートのロングスライドを可能にした インテリジェントパワーユニット(IPU)

小型・高出力密度のリチウムイオンバッテリーと制御用ECUなどを集約した電源ユニット。新型ステップ ワゴンでは冷却排気ダクトのレイアウトを変更し、サイド排気ダクトを用いてスライドドアの戸袋空間へ排気することで、従来モデルで採用していたリア排気ダクトを不要としました。これにより2列目ロングスライドシートの採用を可能にするとともに、排気圧損を25%低減することで冷却効率が向上。バッテリーの性能を効果的に引き出すことで優れたドライバビリティに貢献しています。

■IPU冷却ダクトレイアウト比較



■ 多人数乗車でも余裕の走りとお優れた燃費性能を発揮する

1.5L 直噴 VTEC TURBO エンジン

直噴システムや小径タービン、デュアルVTC*などを採用し、低回転域から豊かなトルクを発生しながら、優れた燃費性能も発揮するVTEC TURBO。新型ステップワゴンでは、エキゾーストポートやタービン、コンプレッサーを改良してターボチャージャーの過給応答性を向上させ、爽快な加速フィールを実現しています。

※ 連続可変バルブタイミング・コントロール機構

■ 1.5L 直噴 VTEC TURBO エンジン



4 in 2 エキゾーストポート

従来の4 in 1集合ポートに対し4 in 2ポートを採用。気筒の点火順番を考慮し、1番と4番、2番と3番をそれぞれ集約することで排気干渉を低減し、排気効率を向上させました。

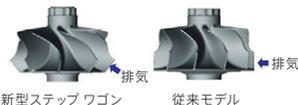
■ 4 in 2 エキゾーストポート



斜流タービン

排気流をタービンに対して斜めに導入し、遠心力に加えて排気流による揚力で回転させる斜流タービンを採用。より幅広い領域で高効率に過給圧が得られる設計としました。

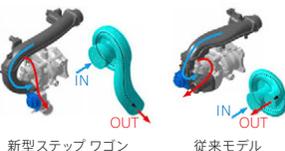
■ 斜流タービン



コンプレッサー効率向上

コンプレッサーの吸気流路をなだらかな曲率とすることで、圧力損失を低減。過給効率を高め、レスポンスと出力の向上に寄与しています。

■ コンプレッサー流路



■ 燃料消費率(国土交通省審査値)*1



STEPWGN AIR(FF)

13.9 km/L

市街地モード(WLTC-L) 10.6km/L
郊外モード(WLTC-M) 14.6km/L
高速道路モード(WLTC-H) 15.7km/L

※1 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。

※2 WLTCモード：市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。
市街地モード：信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。郊外モード：信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。高速道路モード：高速道路等での走行を想定。

■ エンジン性能

最高出力	110kW[150PS]/5,500rpm
最大トルク	203N・m[20.7kgf・m]/1,600-5,000rpm

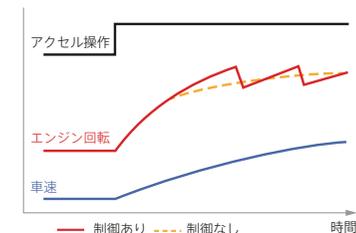
■ 加速の気持ちよさや減速の安心感に寄与するCVT

VTEC TURBOエンジンの性能を引き出すCVT。加減速時のステップシフト制御を採用し、ミニバンの特性に合わせて最適化しました。

全開加速ステップアップシフト制御

アクセル全開などで強い加速を行う場合、CVTレシオとエンジン回転数を段階的に制御することで有段トランスミッションのような変速を実現。リズムカルな加速感と、エンジン回転数や音の変化が一体となった爽快な走りをもたらします。

■ 車速・エンジン回転特性イメージ

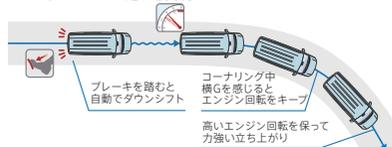


ブレーキ操作ステップダウンシフト制御

一定以上強くブレーキを踏み込んだ際、CVTレシオを低く制御しエンジン回転数を高く保ちながら段階的にダウンシフトし、エンジンブレーキによる制動力を確保。下り坂などでの安心感を高めます。コーナリング中は横Gを判断してエンジン回転数を高く保ち、コーナー立ち上がりでのスムーズな加速を支援します。

ワインディング

▶ レスポンスのいい走りを実現



下り坂

▶ スムーズな減速で安心感を向上



高速道路の出口

▶ 前走車離脱後のスムーズな再加速



■ 高精度制御によって雪道での走破性を高めたリアルタイムAWD

電子制御で前後輪の駆動力配分を緻密にコントロールするリアルタイムAWD。より応答性が高くリアな制御に進化させたことで前輪のスリップ率を大幅に低減。後輪への伝達トルク容量アップや、ブレーキによる前後輪LSD制御と合わせ、雪道での発進や登坂、コーナリングなどで優れた走破性を発揮します。さらに、シャシーセッティングとも高次元でバランスさせ、雪道でも運転しやすく疲れにくい、安心感ある走りを目指しました。

■ 雪道走破性イメージ



#素敵な暮らし

「安心」×「自由」と つながるコネクテッド技術



■ [コネクテッド技術] Honda CONNECT ①

新世代コネクテッド技術「Honda CONNECT」が 実現する、安心・快適なカーライフサポートサービス 「Honda Total Care プレミアム」

Honda車専用車載通信モジュール「Honda CONNECT」を搭載するとともに、このHonda CONNECTを活用して、カーライフをより安心・快適にするコネクテッドサービスが「Honda Total Care プレミアム」です。車内でゲーム機やタブレットなどを便利に使える車内Wi-Fiや、ナビゲーションの自動地図更新サービスなど、家族でのドライブをサポートする多彩なサービスを提供します。

■ 人とクルマと社会をつなげる新世代のコネクテッド技術 Honda CONNECT

Honda CONNECTは、3つの無線規格に対応する車載通信モジュール。お客様のクルマのデータを送受信し、それらを活用することで安心・快適なカーライフに役立つさまざまなサービスを実現します。

4G通信

テレマティクスコントロールユニット (TCU) が、車両を各種サーバーや緊急サポートセンターに接続。「自動地図更新サービス」、「Honda デジタルキー」、「緊急サポートセンター」など多彩なサービスを実現します。

Wi-Fi通信

車内にWi-Fi環境をつくり、スマートフォン、タブレット、ゲーム機などの使用を可能にします。

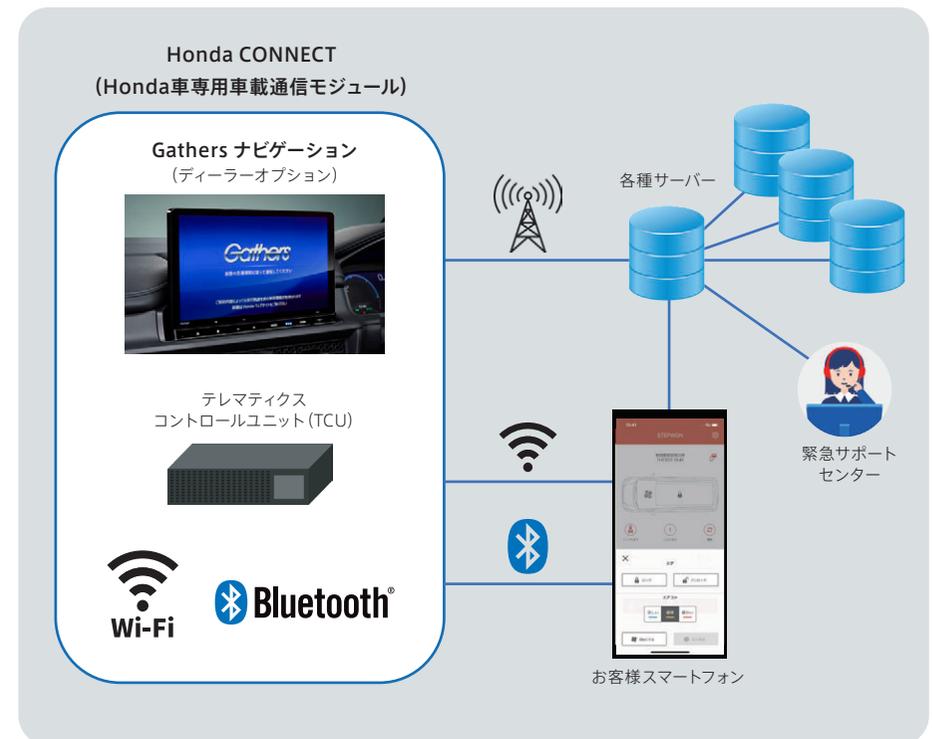
Bluetooth® 通信

車内と車両近辺でお客様のモバイル機器をつなぎます。車両近くで「Honda デジタルキー」を利用する際、インターネットを経由せずお客様のスマートフォンに直接接続できるため素早い解錠を可能に。

Gathersナビゲーション (ディーラーオプション)

Honda CONNECTに対応したナビゲーションシステム。自動地図更新サービスを含むフルサービスに対応の大画面11.4インチモデルをはじめ、3モデルをラインアップしています。

■「Honda CONNECT」&「Honda Total Care プレミアム」概念図



Honda Total Care プレミアム サービス一覧

Honda
CONNECT



Honda リモート操作※1

スマホでクルマの操作や確認ができる

離れた場所からでもスマートフォンでクルマを操作することが可能。

- エアコン操作
乗車する少し前から、エアコンをONにすることができ、車内を快適にします。
- クルマを探す
広い駐車場で自分のクルマが見つからない。そんな時に地図上で位置を確認できます。さらにハザードランプとブザーで車両を見つけやすくします。
- し忘れ通知・操作
ドアロックのし忘れなどをスマートフォンに通知し、ロック操作ができるなど、お客様の「うっかり」を「しっかり」サポートします。



車内 Wi-Fi

クルマを Wi-Fi スポットに

スマートフォン、タブレット、ゲーム機等をクルマの Wi-Fi に接続。音楽・動画・ゲームが楽しめます。もちろんパソコンでテレワークも可能。通信量は必要な分だけ購入できます。※2



Honda デジタルキー※1

スマホがクルマのキーになる

いつものスマートフォンでドアロック解除やエンジン始動ができます。



自動地図更新サービス※3 ※4

あたらしい地図に自動で更新

通信により地図を“自動”で更新。目的地までの最適なルートをご案内します。



緊急サポートセンター

ボタン一つでオペレーターが対応

万一の時、クルマと緊急サポートセンターがボタン一つでつながります。さらに、エアバッグが展開した時は自動で通報します。クルマの状況がオペレーターに共有されるので、緊急・トラブル時には的確で迅速なサポートを提供します。



**Honda ALSOK
駆けつけサービス**

盗難・いたずらに迅速対処



駐車中のクルマが異常を感知すると、あなたのスマートフォンに通知します。クルマから離れた場所にいる時は、緊急サポートセンターを通じて、ALSOK のガードマンを現場に急行させることができます。あなたの代わりに盗難やいたずらに適切かつ迅速に対処し、クルマの安全を守ります。

「Honda CONNECT」
について詳しくはこちら



「Honda CONNECT」をお使いいただくために

「Honda Total Care」へのご加入、および「Honda Total Care プレミアム」へお申込みいただくとご利用いただけます。

**Honda Total Care
プレミアム**

つながる技術でああなたの毎日が、もっと安心・快適に。

万が一やお困りの時はもちろん、毎日の運転やクルマに乗っていない時でさえも、サポートします。
<https://www.honda.co.jp/hondatotalcare/premium/>



Honda純正ナビゲーション「^{ギャザズ}Gathers (Honda CONNECT対応)」【ディーラーオプション】



- 11.4インチ Honda CONNECTナビ LXM-237VFLi
- 9インチ Honda CONNECTナビ LXM-237VFNI
- 8インチ ベーシックインターナビ (Honda CONNECT対応) LXM-232VFEI

詳しくはステップワゴンアクセサリカタログ、または、<https://www.honda.co.jp/ACCESS/stepwgn/>をご覧ください。

製造事業者 **株式会社ホンダアクセス**

※1 「Honda リモート操作アプリ」のダウンロードが別途必要となります。※2 装着したナビにより購入方法は異なります。 ※3 「Honda CONNECTナビ」装着車のみご利用いただけます。「8インチ ベーシックインターナビ (Honda CONNECT対応)」をご選択の場合、この機能は装備されません。 ※4 「Honda Total Care プレミアム」基本パック解約時は、工場出荷時の地図に戻ります。■ギャザズナビゲーション以外のナビゲーションを装着した場合、動作の保証は致しかねます。■サービスのご利用には条件がございます。

#素敵な暮らし

「安心」×「自由」を 支える安全性能



「安心」で「自由」な移動のために。 家族のドライブを全方位でサポートする 高水準の安全性能。

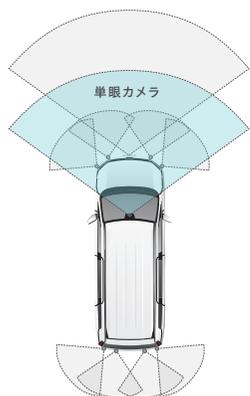
Hondaは「Safety for Everyone」をグローバルスローガンに掲げ、クルマやバイクに乗っている人だけでなく、道を使うだれもが安全でいられる「事故に遭わない社会」の実現を目指しています。そうした理念のもとに開発され進化を続ける「Honda SENSING」を搭載。リアルワールドを見据えた衝突安全性能と合わせ、安心・安全な移動の喜びをサポートします。

進化を続ける安全運転支援システム、Honda SENSING

2015年の実用化以来、幅広いモデルへ適用を拡大するとともに、機能・性能を進化させてきたHonda SENSING。2020年には、自動運転レベル3の機能を搭載したHonda SENSING Eliteを開発し、交通事故ゼロ社会へ向けた新たな一歩を踏み出しました。新型ステップワゴンではミリ波レーダーと単眼カメラの検知範囲を広げ、車両前後にソナーセンサーを装備。さまざまなシーンで運転に安心をもたらします。

Honda SENSING

■検知センサー構成



単眼カメラ

対象物体の属性・大きさを認識



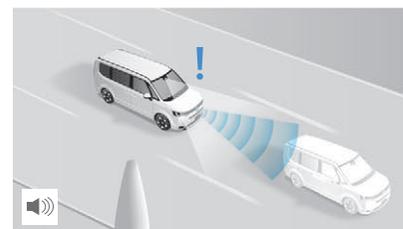
ミリ波レーダー

対象物体の位置・速度を認識



ソナーセンサー

音波の反射を利用しガラスや外壁など非金属物も高い精度で検知



衝突軽減ブレーキ (CMBS)

車両や歩行者、人が乗車して移動する自転車を検知し、衝突の危険がある場合に音とマルチインフォメーション・ディスプレイの表示で警告します。衝突の危険が継続しているとシステムが判断した時は、強いブレーキをかけて、停止または減速することにより衝突回避・被害軽減を支援します。

CMBS: Collision Mitigation Braking System



誤発進抑制機能*

前方に障害物があるにも関わらずアクセルペダルを踏み込んだ際、パワーシステム出力を抑制して急発進を防止するとともに音とマルチインフォメーション・ディスプレイの表示で警告します。

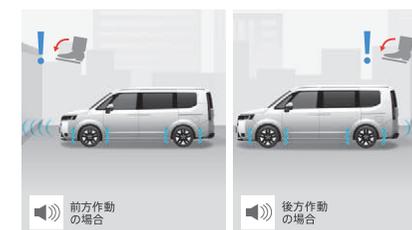


後方誤発進抑制機能*

後方に障害物があるにも関わらずアクセルペダルを踏み込んだ際、パワーシステム出力を抑制して急発進を防止するとともに音とマルチインフォメーション・ディスプレイの表示で警告します。

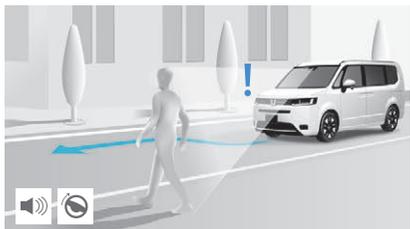
※「誤発進抑制機能」、「後方誤発進抑制機能」、「近距離衝突軽減ブレーキ」を組み合わせで「踏み間違い衝突軽減システム」と呼びます。

■イラストは機能説明のためのイメージ図です。



近距離衝突軽減ブレーキ*

壁などの障害物の見落としにより衝突するおそれがある際、運転者のブレーキ操作を支援し、停止または減速することにより衝突回避・被害軽減を支援します。



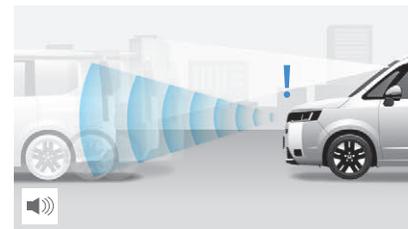
歩行者事故低減ステアリング

走行中に車線を外れ、路側帯の歩行者と衝突しそうな際、音とマルチインフォメーション・ディスプレイの表示で警告します。ステアリングも制御して回避操作を支援します。



路外逸脱抑制機能

車線や草、砂利などの道路境界をはみ出しそうな際や対向車への接近時に車線をはみ出しそうな際、逸脱を防ぐようにステアリングを制御して回避操作を支援するとともに、マルチインフォメーション・ディスプレイとステアリング振動、および音で警告します。



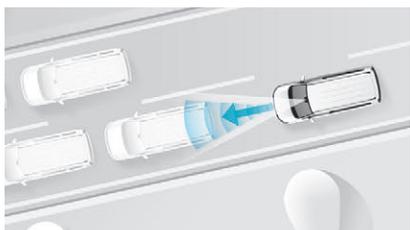
先行車発進お知らせ機能

先行車が発進したことを、音とマルチインフォメーション・ディスプレイの表示でお知らせします。



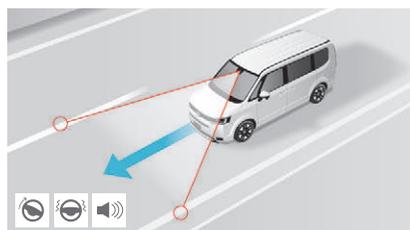
標識認識機能

走行中に道路標識を認識してマルチインフォメーション・ディスプレイに表示します。速度を超過した場合はマルチインフォメーション・ディスプレイの表示を一定時間点滅させ安全運転を支援します。



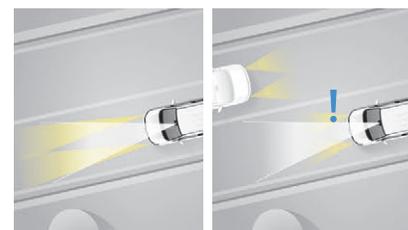
渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール (ACC)

先行車がない場合は設定した車速を自動で維持し、先行車がいる場合は自動で加減速し、適切な車間距離を保つよう支援します。先行車が停車すれば合わせて停車する渋滞追従機能も付いています。



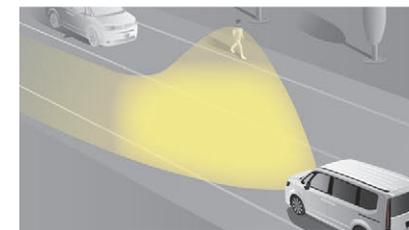
車線維持支援システム (LKAS)

高速道路や自動車専用道路を走行中、車線の中央に沿って走行できるようにステアリング操作をアシストします。車線を外れそうな際には、マルチインフォメーション・ディスプレイの表示とステアリング振動、および音で警告し注意を喚起します。LKAS : Lane Keeping Assist System



オートハイビーム

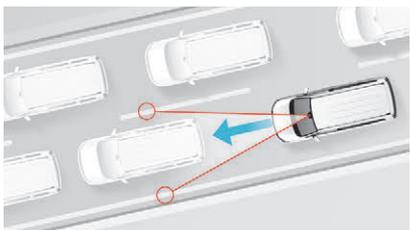
先行車や、対向車を検知してハイ/ロービームを自動で切り替えます。良好な視界の確保を支援するとともに、切り替え操作の頻度も低減します。



アダプティブドライビングビーム*

ハイビーム照射中、先行車や対向車を検知すると、周辺状況に応じて照射範囲を自動でコントロール。前方車両の幻惑を低減させながら、歩行者や標識を見つけやすくします。

* STEP WGN e:HEV SPADA PREMIUM LINE, STEP WGN SPADA PREMIUM LINEに設定



トラフィックジャムアシスト (渋滞運転支援機能)

高速道路などでの渋滞時、自車の走行車線をキープするようステアリング操作をアシスト。渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(アクセル、ブレーキ操作のアシスト)と合わせて、渋滞時のドライバーの運転負荷を軽減します。

■イラストは機能説明のためのイメージ図です。

■Honda SENSINGは、ドライバーの運転支援機能のため、各機能の能力(認識能力・制御能力)には限界があります。各機能の能力を過信せず、つねに周囲の状況に気をつけ、安全運転をお願いします。車両をご使用になる前に必ず取扱説明書をお読みください。各システムは、いずれも道路状況、天候状況、車両状態等によっては作動しない場合や十分に性能を発揮できない場合があります。■衝突軽減ブレーキ(CMBS)は、約5km/h以上で走行中に自車との速度差が約5km/h以上ある車両や歩行者、人が乗車して移動する自転車に対して衝突するおそれがあるとシステムが判断したときに作動し、停止または減速することにより衝突回避や衝突被害の軽減を支援します。■誤発進抑制機能は、停車時や約10km/h以下で走行中、自車のほぼ真正面の近距離に壁などの障害物があるにもかかわらず、アクセルペダルを踏み込んだことにより、衝突するおそれがあるとシステムが判断したときエンジンやモーターなどのパワーシステム出力を抑制し、急な発進を防止します。■後方誤発進抑制機能は、停車時や約10km/h以下で後退中、自車のほぼ真後ろの近距離に壁などの障害物があるにもかかわらず、アクセルペダルを踏み込んだことにより、衝突するおそれがあるとシステムが判断したときエンジンやモーターなどのパワーシステム出力を抑制し、急な後退を防止します。■近距離衝突軽減ブレーキは、約2km/h～約10km/hで走行中、壁などの障害物に衝突するおそれがあるとシステムが判断したときに、ブレーキを制御し停止または減速することにより衝突回避や衝突被害の軽減を支援します。■歩行者事故低減ステアリングは、約10km/h～約40km/hで走行中、システムが歩行者側への車線逸脱と歩行者との衝突を予測したときに、ステアリング操作による回避を支援します。運転者のステアリング操作に代わるものではありません。運転者が加速やブレーキ操作、急なステアリング操作を行っているときシステムが判断したとき、また、ウインカーを作用させている場合には作動しません。■路外逸脱抑制機能は、約30km/h以上で走行中、システムが路外への逸脱を予測したときに作動します。運転者のステアリング操作に代わるものではありません。運転者が加速やブレーキ操作、急なステアリング操作を行っているとき、また、ウインカーを作用させている場合には作動しません。■渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)は、先行車がいる場合、停車中から作動し、先行車がない場合は、約30km/h以上で走行中に作動します。先行車に接近しすぎる場合には、ブレーキペダルを踏むなどして適切な車間距離を保ってください。高速道路や自動車専用道路を運転するときに使用してください。■車線維持支援システム(LKAS)は、約65km/h以上で走行中に作動します。運転者のステアリング操作に代わるものではありません。運転者がステアリングから手を放した状態や、運転者が意図的に車線を越えるようなステアリング操作をしているとき、また、ウインカーを作用させている場合には作動しません。■先行車発進お知らせ機能は、先行車の車間距離が約10m以内で、先行車の発進を検知しても自車が停止し続けたときに作動します。■標識認識機能は、最高速度、はみ出し通行禁止、一時停止、車両進入禁止の道路標識を認識し、マルチインフォメーション・ディスプレイに表示します。一時停止、車両進入禁止は約60km/h以下で走行中に作動します。■オートハイビームは、約30km/h以上で走行中に作動します。ハイビームとロービームの自動切り替え制御には状況により限界があります。必要に応じて手動で切り替え操作を行ってください。■アダプティブドライビングビームは、約10km/h以上で走行中に作動します。照射範囲のコントロールには限界があります。必要に応じて手動でハイビーム/ロービームの切り替えを行ってください。アダプティブドライビングビームによる照射中は、メーター内にハイビーム表示灯が点灯します。

■ ブラインドスポットインフォメーション

リアバンパー内側に設置したレーダーにより後側方に接近する車両を検知すると、ドアミラー上のインジケーターが点灯し、ドライバーに知らせます。この状態でウインカーを操作させると、インジケーターが点滅すると同時に警報音で注意喚起。複数車線の道路や高速道路の合流地点などでの安全な車線変更をサポートします。検知距離を25mとすることで早期の注記喚起を可能にします。

タイプ別設定



■ マルチビューカメラシステム※

フロントグリル、左右ドアミラー、テールゲートに備えた4つの魚眼CMOSカメラで車両の周囲を撮影。これら的高精細なデジタルカメラ映像を合成し、ステアリング舵角から算出したガイド線などを加えて、ナビ画面上に表示します。

※ システムを使用するには、対応するナビゲーションが必要となります。

タイプ別設定

タイプ別メーカーオプション



■ LEDアクティブコーナリングライト

ヘッドライト点灯時、約40km/h以下でステアリングやウインカーを操作すると、曲がろうとする方向の内側の路面を照らし、右左折時の歩行者などをより見やすくします。



■ スマートクリアワイパー

ワイパー本体にノズルを内蔵し、ワイパーの進行方向にウォッシャー液を噴射するスマートクリアワイパーを採用。噴射直後にワイパーが拭き取るため、ウォッシャー液で視界が妨げられることはありません。外気温と車速に応じて噴射量を制御することで、優れた洗浄効果を確保しながら従来ワイパーに対し約40%の節水を実現します。



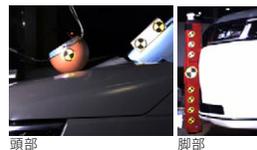
■ リアルワールドを見据えた衝突安全性能

ロングスライドシートを採用するなど利便性の高い空間を備えながら、ボディーに効率的な補強を施し、優れた衝撃吸収・分散構造を実現。そのうえでシートベルトやエアバッグをアップデートし、強化されたJNCAP新基準への対応だけでなくリアルワールドでの被害軽減を追求した高水準の衝突安全性能を達成しています。

■ 衝突安全設計ボディー

歩行者保護

ボンネットフレーム形状やフロントバンパー荷重特性の最適化により、スタイリングと性能を両立



前面衝突

クラッシュロックングタンクを備えた運転席&助手席シートベルトや、2列目シート3点式ロードリミッター付プリテンショナー-ELRシートベルト(左右席)を採用するなど優れた乗員拘束性能を実現



後席乗員保護

サイドカーテンエアバッグの採用やシートベルトの最適化、骨格構造最適化によって乗員を保護



2列目席 前面衝突

側面衝突

サイドシル補強材やフロアフレーム補強材、センタークロスメンバーなどの強度を高め、強化が進む側突基準に対応



ムービングデフォーマルバリア55km/h

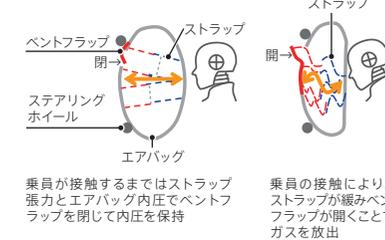


オフセットバリア64km/h

■ 「早く」「優しく」「長く」ふくらむ内圧保持タイプのエアバッグを採用

運転席用&助手席用i-SRSエアバッグシステムは、体格の大きい方など乗員がエアバッグに接触するまでの時間が長くなるケースでも十分な内圧を保持し、より効果的な乗員保護性能を発揮します。また、前席用i-サイドエアバッグシステムは2重構造のエアバッグを採用し、高圧エアバッグを瞬時に開いたのちに低圧エアバッグを開くようにすることで、展開速度を速めながらも乗員への衝撃を効果的に緩和します。

■ 内圧保持構造イメージ(運転席)



■ イラストは機能説明のためのイメージ図です。

みんなで出かける喜びに ゆとりの空間と使い勝手で応える 多彩なラインアップの福祉車両。

■ 利用状況に応じて選べる、3タイプの車いす仕様車

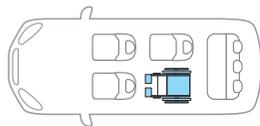
車いすに乗ったまま乗車できる車いす仕様車。リクライニング車いすに対応した2列目乗車タイプ、3列目に乗車し、その隣に介護する方が座れるタイプ、2列目と3列目に車いすの方が2名乗車できるタイプをラインアップしました。



■ 車いす仕様車2列目乗車タイプ



2列目後方に車いすの固定点を1か所追加することで、リクライニング車いすの固定がよりスムーズに。

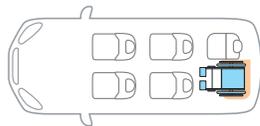


2列目乗車タイプ (FF/4WD)

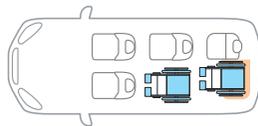
■ 車いす仕様車3列目乗車タイプ



3列目シートを床下に格納できるので、爽やかな視界を確保。また、3列目でも人が隣に座れます。



3列目乗車タイプ (FF/4WD)



2列目&3列目乗車タイプ (FF)

■ 3列目シート格納時

Hondaは「Fun for Everyone. Honda ～移動の喜びを一人ひとりに～」という想いのもと、誰もが気持ちよく、楽しく乗れるクルマづくりを進めるとともに、身体の不自由な方々が活躍できる機会や場の拡大をサポートしています。新型ステップ ワゴンは、ベースモデルのSPADAと変わらぬ外観デザインでありながら、近年利用が増えているリクライニング車いすに対応するなど、使いやすさを追求しています。

■ シートが電動で回転して昇降する、サイドリフトアップシート車

車いすや杖を利用しているなど、通常のシートへの乗り降りが難しい方の負担を軽減。シートの両側から乗降をサポートすることができるため、介護する方の負担も軽減します。



サイドリフトアップシート車
(FF/4WD)

■ 快適で安心な移動をサポートする充実装備

車いす仕様車、サイドリフトアップシート車ともに、パワーテールゲートやトリプルゾーンコントロールフルオートエアコンディショナー、ブラインドスポットインフォメーションなどを標準装備。日々の使用をより快適に、より安心にサポートする装備を充実させました。

主要装備

● は標準装備 ◎ はメーカーオプション (ご注文時にお申し付けください)

タイプ	STEP WGN e:HEV						STEP WGN									
	AIR		SPADA		PREMIUM LINE		AIR		SPADA		PREMIUM LINE		車いす仕様車	サイドリフトアップシート車		
	2列目乗車タイプ	3列目乗車タイプ	2列目&3列目乗車タイプ	2列目乗車タイプ	3列目乗車タイプ	2列目&3列目乗車タイプ	2列目乗車タイプ	3列目乗車タイプ	2列目&3列目乗車タイプ							
駆動方式	FF	FF	FF	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	
Honda SENSING (衝突軽減ブレーキ(CMSB)、誤発進抑制機能 ^{※1} 、後方誤発進抑制機能 ^{※1} 、近距離衝突軽減ブレーキ ^{※1} 、歩行者事故低減ステアリング、路外逸脱抑制機能、洗濯機付機能付アダプティブブレーキコントロール(AFC)、車線維持支援システム(LKAS)、トラフィックジャムアシスト(洗濯機付機能)、先行発進お知らせ機能、横断認識機能、オートハイビーム)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
安全装備	アダプティブドライビングビーム															
フルLEDヘッドライト(インテリジェントタイプ) LEDリアコンビネーションランプ(オートライトコントロール機構付)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
LEDアクティビコーナリングライト	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
パーキングセンサーシステム ^{※2}	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
ブラインドスポットインフォメーション	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
車間接近通報装置	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
アイドリングストップシステム	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
1列目シート用・サイドエアバッグシステム ^{※3} サイドカーテンエアバッグシステム(1~3列目シート対応)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
【全タイプ標準装備】 ●運転席用&助手席用・SRSエアバッグシステム ●電子制御パーキングブレーキ ●オートブレーキホールド機能 ●VSA ●アジャイルハンドリングアシスト ●EBD(電子制御動力配分システム)付ABS ●エマージェンシーブレーキ ●ECONスイッチ ●ヒルスタートアシスト機能 ●1列目シート3点式ロードリミッター付プリテンションERシートベルト ●運転席/助手席用プリテンションERシートベルト ●2列目シート3点式ロードリミッター付プリテンションERシートベルト(左右別) ^{※4} ●2列目シート3点式ELRシートベルト(全席) ●全席シートベルト着用警報(シートベルトマシニング) ^{※5} ●17灯LEDハイマウント・ストップランプ ●LEDフォグライト ●Sizeチャイルドシート対応 ISOFIX下部取付金具(2列目左右別) ^{※6} ●トヨタ専用取付金具(2列目左右別) ^{※6} ●エコアシスト(ECONモード、コーチング機能) ●イモビライザー(国土交通省認可品) ●セキュリティアラーム(国土交通省認可品) ●サイドアンダーミラー																
Honda CONNECT for Gathers ナビ装着用スペシャルパッケージ ^{※7}	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
マルチユーザカメラシステム ^{※8}	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
シートヒーター	運転席&助手席		2列目		●		●		●		●		●		●	
Clean Air	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
トリプルゾーンコントロール・フルオートエアコンディショナー(プラスマクラスター技術搭載)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
左右独立温度コントロール式フロント・フルオートエアコンディショナー+リア・マニュアルクーラー(プラスマクラスター技術搭載)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
PTCヒーター ^{※9}	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
全席USBチャージャー(Type-C)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
1列目&2列目USBチャージャー(Type-C)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
予約ロック	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
【全タイプ標準装備】 ●雨刷(パワースライド付) ●静電タッチセンサー式/イージーオープンドアハンドル/挟み込み防止機構付/スライドドアイージーローパー付 ●6スピーカー ●アクセサリーソケット(DC12V)(フロント×1個、リア×1個) ●Hondaスマートキーシステム(駐車時オートドアロック機能/キー2個付) ^{※10} ●パワースイッチ ^{※11} ●デジタルタコメーター(10.2インチ) ●マルチインフォメーションディスプレイ(エネルギー消費/タコメーター/ガソリン量) ●経過時間/オドメーター/トリップメーター/タイヤ角度モニター/平均車速/平均燃費/瞬間燃費/推定航続可能距離表示機能 など) ●ワンタッチウインカー ●レスコピック/チルトステアリング ●パワウインドウ(運転席/挟み込み防止機構付/キーオフオートリレーション機構付/ワンタッチ式/助手席/スライドドア) ●リアヒーターダクト ●PM2.5対応高効率集塵フィルター ●車速連動オートドアロック(テールゲート連動) ●パワードロック(テールゲート連動) ●運転席/助手席用ヘッドレスト ●リアシートリマインダー ●ヘッドライトオートオフ機能																
2列目キャブテンシート(開閉アームレスト付)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
2列目 6:4分割ベンチシート(センターアームレスト付) ^{※12}	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
ファブリックシート	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
ファブリック&プライムスムース(合皮)コンビシート	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
スエード調表皮&プライムスムース(合皮)コンビシート	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
2列目オットマン	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
本革巻ステアリングホイール	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
コンビニファック付シートバックテーブル(運転席/助手席)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
コンビニファック(2列目キャブテンシート内側アームレスト)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
センターコンソールボックス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
インパネガーニッシュ(運転席/助手席)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
ソフトパッド(フロントドアオナーメント、スライドドアインテリジェントタイプ)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
運転席用&助手席用パニティーミラー付サンバイザー(運転席シートホルダー付)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
ラゲージルームランプ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
バックアランプ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
3列目分割床下格納シート(マジックシート)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
FABTECT(撥水・撥油) ^{※13}	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

タイプ	STEP WGN e:HEV						STEP WGN								
	AIR		SPADA		PREMIUM LINE		AIR		SPADA		PREMIUM LINE		車いす仕様車	サイドリフトアップシート車	
	2列目乗車タイプ	3列目乗車タイプ	2列目&3列目乗車タイプ	2列目乗車タイプ	3列目乗車タイプ	2列目&3列目乗車タイプ	2列目乗車タイプ	3列目乗車タイプ	2列目&3列目乗車タイプ						
駆動方式	FF	FF	FF	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD
インテリジェント	【全タイプ標準装備】 ●グラブレード(運転席/助手席/2,3列目左右) ●サンダースボックス ●インパネアッパーボックス(助手席) ●防眩ルームミラー ●収納式ドリンクホルダー(運転席/助手席/1列目中央) ●インパネトレイ(助手席) ●グローブボックス ●ポップアップフック ●スマートホールドセンターローアボックス ●フロントドア・ボールドホルダー(両側)/リアドア・ボックス(両側) ●シートバックアッパーボックス(運転席/助手席) ●シートバックローアボックス(助手席) ●スライドドア・ボールドホルダー(両側) ●コトフック(2列目右側/3列目左右) ●ドリンクホルダー(3列目(左右2個ずつ)) ●大容量ラゲージアンダースペース ^{※14} ●1列目シートアームレスト(運転席/助手席) ●リアバックラック調整スライドアッパーガーニッシュ ●ブラチナシルバークロムガーニッシュ ●シルバークロム(インナードアハンドル、エアコンアウトレットノブ) ●フロントドアアームレストパッド(プライムスムース(合皮)) ●ルームランプ														
パワーテールゲート(メモリ機能付)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
カラーデテールゲートスボイラー	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
熱線入りフロントウインドウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
【SPADA専用エクステリア】	●フロントグリル ●フロントバンパー ●リアバンパー ^{※15} ●リアサッシュガーニッシュ(ハイグロスブラック)														
【SPADA専用加飾】	ダーククロムメッキ加飾(フロントグリルガーニッシュ/ローアガーニッシュ(フロント/リア)/サイドシルガーニッシュ/テールゲートガーニッシュ/ヘッドライトエクステンションカラー)														
【PREMIUM LINE専用加飾/福祉車両専用加飾】	ブラチナ調クロムメッキ加飾(フロントグリルガーニッシュ/ローアガーニッシュ(フロント/リア) ^{※16} /サイドシルガーニッシュ/テールゲートガーニッシュ ^{※17} /ヘッドライトエクステンションカラー)														
【全タイプ標準装備】 ●LEDシークンシャルターンシグナルランプ(フロント) ●LEDデイタイムランニングランプ/ポジションランプ ●LEDリアコンビネーションランプ(ストップランプ&テールランプ) ●フロントアウタードアハンドル ●IRカット(運転席/助手席)UVカットフロントドアガラス ●IRカット(運転席/助手席)UVカット機能付フロントウインドウガラス ●高熱線吸収UVカット機能付リアガラス(リアドア、リアクォーター、テールゲート) ●電動格納式リモコンカーードドアミラー(LEDウインカー付/オートトリムラミラー) ●スマートクリアワイパー(車速連動開閉/パリアウォッシャーノズル内蔵/ミスト機構付) ●ウォッシャー付開閉ワイパー(リア) ●電動式リアウインドウデフォグャー ●ルーテッドドアミラー															
足まわり/走行関連メカニズム	ベリナブリア切開クリア	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
16インチアルミホイール+スチールラジアルタイヤ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
PREMIUM LINE専用デザイン17インチアルミホイール+スチールラジアルタイヤ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
電動サスペンションシステム	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
エレトロニックギヤセレクター	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
減速セレクター	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
セレレクトレバー	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
パドルシフト	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
【全タイプ標準装備】 対応パッド修理キット(スベアタイヤレス) ^{※18}															
【車いす仕様車専用装備】	●エントリースロープ ●電動ウインチ ●電動ウインチ操作スイッチ&リモコン ●車いす固定ベルト ●フロアリングフロア ●タイヤダウンフック														
【サイドリフトアップシート専用装備】	●電動リフトアップシート(リクライニング&スライド機構付) ●リフトアップシートリモコン ●車いす固定用ネット&保護カバー ●タイヤダウンフック														

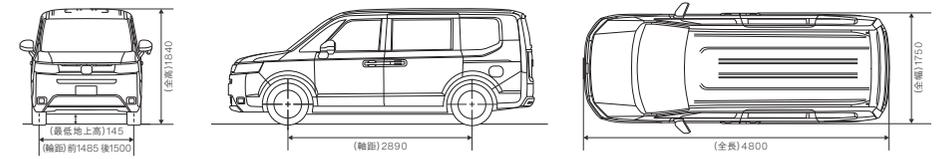
*PTC(自己温度制御システム):Positive Temperature Coefficient
 ※1:「誤発進抑制機能」、「後方誤発進抑制機能」、「近距離衝突軽減ブレーキ」を組み合わせて「踏み間違い衝突軽減システム」と呼びます。 ※2:ナビ画面に表示するには、対応するナビゲーションが必要となります。 ※3:福祉車両はシートの形状やシートアレンジ、シートスライド量が異なります。車いす仕様車の2列目乗車タイプと2列目&3列目乗車タイプの場合、右側のみとなり、アームレストは装備されません。 ※4:福祉車両は作動範囲が異なります。 ※5:「ギアチェンジ」操作時は、音楽・映像メディアと接続可能なUSBジャックが1個使用可能になります。 ※6:システムを使用するには、対応するナビゲーションが必要となります。 ※7: Hondaスマートキーシステムは、乗降・解錠のときなどに電波を発信します。その際、極端に強い電波(例えば一部の医療用電子機器)に影響を与える可能性があります。 ※8: ガソリン車は「プッシュエンジンスタート/ストップスイッチ」が装備されます。 ※9: 2列目シート(中央席)には「3点式ELRシートベルト」が装備されます。 ※10: 「2列目 6:4分割ベンチシート(センターアームレスト付)」をお選びの場合は装備されません。 ※11: 車いす仕様車はシートの形状が異なります。 ※12: STEP WGN e:HEV AIR, STEP WGN AIRはインパネガーニッシュ(運転席/助手席)、フロントドアオナーメント、スライドドアインテリジェントタイプに撥水・撥油加工を施しております。STEP WGN e:HEV SPADA, STEP WGN SPADAはシート裏面および背もたれに撥水・撥油加工を施しております。 ※13: 車いす仕様車は形状が異なります。 ※14: 車いす仕様車は形状やスイッチ位置が異なります。 ※15: 工具(ジャッキ/ジャッキハンドル/バーホイール/レッケン(豪ジャッキハンドル))は装備していません。

■仕様ならびに装備は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。 ■写真は実際の色と多少異なることがあります。

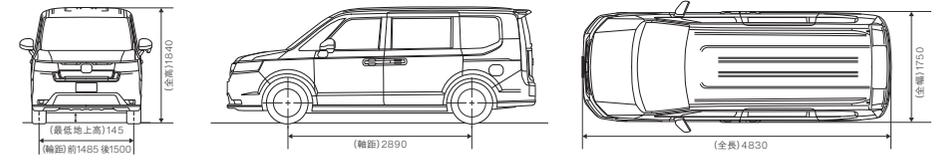
寸法イメージ図

単位:mm

■STEP WGN e:HEV AIR(FF)



■STEP WGN e:HEV SPADA(FF)



主要諸元

タイプ	STEP WGN e:HEV						STEP WGN										
	AIR		SPADA		PREMIUM LINE	AIR	SPADA		PREMIUM LINE	車いす仕様車		サイドリアアップシート車					
	FF	FF	FF	FF	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD			
駆動方式	7	FF	8	7	FF	8	7	FF	8	7	FF	8	7	FF	8		
乗車定員(名)	7		7		8	7		7		7		7		7			
車名・型式	ホンダ・6AA-RP8★○						5BA-RP6★	5BA-RP7★	5BA-RP6★	5BA-RP7★	5BA-RP6	5BA-RP7★	5BA-RP6	5BA-RP7	5BA-RP6	5BA-RP7	
トランスミッション	電気式無段変速機						無段変速オートマチック (トルクコンバーター付) [※]										
全長(m)	4.800		4.830		4.800		4.830		4.800		4.830		4.800		4.830		
全幅(m)	1.840		1.845		1.840		1.855		1.840		1.855		1.840		1.855		
全高(m)	1.840		1.830		1.840		1.855		1.840		1.855		1.840		1.855		
ホイールベース(m)	1.840		1.845		1.840		1.855		1.840		1.855		1.840		1.855		
トレッド(m)	前 後		前 後		前 後		前 後		前 後		前 後		前 後		前 後		
最低地上高(m)	1.810		0.145		0.150		0.145		0.150		0.145		0.150		0.145		
車両重量(kg)	1.810		1.840		1.830		1.840		1.710		1.790		1.740		1.800		
客室内寸法(m)	長さ/幅/高さ		2.845/1.545/1.410		2.845/1.545/1.425		2.845/1.545/1.425		2.845/1.525/1.395		2.845/1.545/1.425		2.845/1.545/1.425		2.845/1.545/1.425		
原動機	原動機型式	LFA-H4						L15C									
	エンジン型式	LFA						L15C									
	エンジン種類・シリンダー数及び配置	水冷直列4気筒横置						DOHC チューン駆動 吸気2 排気2									
	弁機構	DOHC						チューン駆動 吸気2 排気2									
	総排気量(L)	1.993						1.496									
	内径×行程(mm)	81.0×96.7						73.0×96.4									
	圧縮比	13.5						10.3									
	燃料供給装置型式	電子制御燃料噴射式 (ホンダPGM-FI)						無鉛レギュラーガソリン									
	使用燃料種類	52						52									
	電動機 (モーター)	H4						—									
性能	エンジン	最高出力(kW[PS]/rpm)		107[145]/6,200		110[150]/5,500		110[150]/5,500		110[150]/5,500		110[150]/5,500		110[150]/5,500		110[150]/5,500	
	エンジン	最大トルク(N・m[kgf・m]/rpm)		175(17.8)/3,500		203(20.7)/3,600-5,000		203(20.7)/3,600-5,000		203(20.7)/3,600-5,000		203(20.7)/3,600-5,000		203(20.7)/3,600-5,000		203(20.7)/3,600-5,000	
	電動機	最高出力(kW[PS]/rpm)		135[184]/5,000-6,000		—		—		—		—		—		—	
	電動機 (モーター)	最大トルク(N・m[kgf・m]/rpm)		315[32.1]/0-2,000		—		—		—		—		—		—	
	燃料消費率 (国土交通省省定値) WLTC [※] km/L	20.0		19.6		19.5		13.9		13.3		13.7		13.1		13.2	
	市街地モード (WLTC-L) km/L	20.4		19.3		19.3		10.6		9.9		10.4		9.9		10.1	
	郊外モード (WLTC-M) km/L	21.3		20.5		20.7		14.6		13.8		14.3		14.4		13.7	
	高速道路モード (WLTC-H) km/L	19.1		19.2		18.9		15.7		15.0		15.3		14.7		14.7	
	燃料消費率 (国土交通省省定値) JC08 [※] km/L	—		—		—		15.4		14.5		15.4		14.5		14.8	
	主要燃費向上対策	ハイブリッドシステム、アトキンソンサイクル、可変バルブタイミング、電動パワーステアリング						直噴エンジン、アイドリングストップ装置、自動無段変速機 (CVT)、可変バルブタイミング、電動パワーステアリング									
最小回転半径 (m)	5.4		5.7		5.4		5.7		5.4		5.7		5.4		5.7		
動力用主電池	リチウムイオン電池/72						—										
変速比	前進 後進		—		—		2.645~0.405		—		2.645~0.405		—		1.858~1.264 (マニュアルモード付)		
減速比	第一: 2.454 (電動機駆動) 0.805 (内燃機駆動) 第二: 3.888		—		—		5.047		前5.047 後2.533		5.047		前5.047 後2.533		5.047		
ステアリング装置形式	205/60R16 96H						ラック・ピニオン式 (電動パワーステアリング仕様)										
タイヤ (前/後)	205/60R16 96H						205/60R16 96H										
主ブレーキの種類・形式 (前/後)	油圧式ベンチレーテッドディスク/油圧式ディスク						油圧式ベンチレーテッドディスク/油圧式ディスク										
サスペンション方式	前 後		—		—		マクファーソン式		マクファーソン式		マクファーソン式		マクファーソン式		マクファーソン式		
スタビライザー形式	前 後		—		—		トーションバー式		トーションバー式		トーションバー式		トーションバー式		トーションバー式		

※パドルシフト付となります。
 ■燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。■WLTCモード:市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード:信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。郊外モード:信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。高速道路モード:高速道路等での走行を想定。
 ※印の車両は、自動車重量税の軽減措置が受けられ、2023年4月30日までの新車登録が対象となります。また、O印の車両は、環境性能評価が非課税となり、2023年3月31日までの新車登録が対象となります。
 ■主要諸元は道路運送車両法による型式指定申請数値。■STEP WGN, STEP WGN AIR, STEP WGN SPADA, エコアシスト、FABTECT, G-COON, Honda SENSING, LKAS, PGM-FI, プラウドスームス、Prime Smooth, VSA, VTECは本田技研工業株式会社の商標です。■HDMI®、HDMI®ロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国々におけるHDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。■プラスマクラスター-ロゴ(商標)およびプラスマクラスター-Plasmaclusterはシャープ株式会社の登録商標です。■Wi-FiWi-Fi Allianceの登録商標です。■製造事業者:本田技研工業株式会社

環境仕様

項目	車種	6AA-RP8		5BA-RP6		L15C		5BA-RP7	
		型式	LFA-H4	L15C	1.496	4WD	—	—	
燃費	総排気量(L)	1.993		1.496		1.496		1.496	
	駆動方式	FF		CVT		4WD		4WD	
	変速機	—		—		CVT		—	
	CO ₂ 排出量	—		15.4		15.2		14.5	
燃費消費率 ^{※1}	参考	2030年度燃費基準 95%達成率		2030年度燃費基準 90%達成率		2030年度燃費基準 80%達成率		2030年度燃費基準 60%達成率	
	WLTC [※]	燃費 [km/L] ×2		燃費 [km/L] ×2		燃費 [km/L] ×2		燃費 [km/L] ×2	
	市街地モード (WLTC-L)	20.4		19.6		19.5		13.9	
	郊外モード (WLTC-M)	21.3		20.5		20.7		14.6	
	高速道路モード (WLTC-H)	19.1		19.2		18.9		15.7	
	CO ₂ 排出量 (g/km) (燃費からの換算値)	116.1		116.5		119.1		167.0	
	適合規制/認定レベル	平成30年排出ガス基準73%改善		WLTCモード		平成30年排出ガス基準50%改善		—	
	試験モード	CO		NMHC		NO _x		—	
	認定基準値 (単位:g/km)	0.025		0.025		0.025		—	
	参考	九都府市指定低公害車の基準に適合 (平成30年基準)		—		—		九都府市指定低公害車の基準に適合 (平成30年基準)	
適合騒音規制レベル	平成28年騒音規制		平成28年騒音規制		平成28年騒音規制		平成28年騒音規制		
	メアゴ	騒音値: 加速走行70dB(A)		騒音値: 加速走行70dB(A)		騒音値: 加速走行70dB(A)		騒音値: 加速走行70dB(A)	
	冷機	使用音値: 47dB		使用音値: 47dB		使用音値: 47dB		使用音値: 47dB	
	車室内VOC	—		—		—		—	
環境負荷低減	鉛	—		—		—		—	
	水銀	—		—		—		—	
	六価クロム	—		—		—		—	
	カドミウム	—		—		—		—	
リサイクル	樹脂、ゴム類への材料表示	100%以上の樹脂表示		200g以上のゴム類表示		—		—	
	リサイクルし易い材料*7を使用した部品	—		—		—		—	
	再生材を使用している部品	—		—		—		—	
	リサイクルの促進	—		—		—		—	
その他	—		—		—		—		

※1 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。※2 WLTCモード:市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード:信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。郊外モード:信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。高速道路モード:高速道路等での走行を想定。※3 GWP:Global Warming Potential(地球温暖化係数) ※4 フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP 650以下(対象の乗用車における国内向け年間排出係数の加重平均値)にするのが要求されています。※5 1995年乗用車の燃費平均値は18.50g(バッテリーを除く)※6 交通安全上必須な部品の燃費低減措置を除外。※7 ガリバリウム、リチウムなどの高気圧性プラスチック。※8 (新車)のリサイクル可能率の定義と算出方法のガイドライン(1998年 自工会)に基づき算出。※9 この環境仕様書は2022年5月現在のものです。
 ■この環境仕様には福祉仕様は含まれておりません。

タイプ	STEP WGN SPADA			
	車いす仕様車			
	2列目乗車タイプ		2列目&3列目乗車タイプ	
駆動方式	FF	4WD	FF	
乗車定員(名)	7(通常時6人乗り/予備乗車時7)		7(通常時6人乗り/予備乗車時7) ^{※1}	
車名・型式	ホンダ・5BA-RP6	ホンダ・5BA-RP7	ホンダ・5BA-RP6	ホンダ・5BA-RP7
トランスミッション	無段変速オートマチック(トルクコンバーター付) ^{※2}			
全長(m)	4.830			
全幅(m)	1.750			
全高(m)	1.840		1.855	
ホイールベース(m)	2.890		1.485	
トレッド(m)	前 後		前 後	
最低地上高(m)	0.145		0.150	
車両重量(kg)	1.760		1.830	
客室内寸法(m)	長さ/幅/高さ		2.845/1.525/1.395	

エンジンの仕様及び最高出力と最大トルク、最小回転半径については車いす仕様車3列目乗車タイプと同一となります。
 ※1:2列目のみ車いすを使用する場合、2列目3列目で同時に車いすを使用する場合、乗車定員は通常時6人乗り/予備乗車時7となります。
 ※2:パドルシフト付となります。
 ■上記諸元値及び数値はメーカー設計値であり、参考数値です。登録時には車両の実測値が適用されます。

- 障害の部位や程度によっては、車両の機能が十分に活かせない場合があります。
- シートに深く着床できない方、膝が曲らない方の場合は座った状態で足などが車体にあたりシートの回転が困難になる場合がありますのでご注意ください。
- 介護をする方が強い場合は、乗り降りし及び車いす取納時など困難になる場合がありますのでご注意ください。
- リフトアップシートの操作及び車いすの取納は、介護をする方が安全に心がけ確実に行ってください。